～バスカヴィル家の犬～



原作◆コナン・ドイル 作画／JET

シャーロック・ホームズの冒険1

THE ADVENTURES OF SHERLOCK HOLMES

THE ADVENTURES OF SHERLOCK HOLMES

1

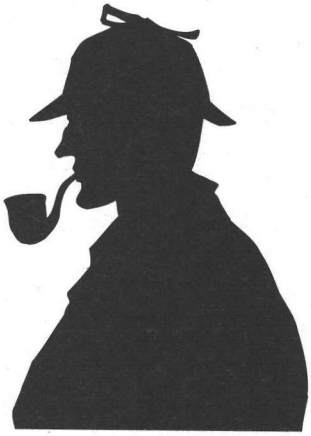
Sir Arthur Conan Doyle

JET

シャーロック・ホームズの冒険 1

THE ADVENTURES OF SHERLOCK HOLMES

～バスカヴィル家の犬～



原作◆コナン・ドイル　作画／JET

CONTENTS



バスカヴィル家の犬
The Hound of The BASKERVILLES
5

青い紅玉
The Blue Carbuncle
158

バスカヴィル家の犬

The Hound of The BASKERVILLES

——前編——






「バスカヴィル家の犬」
その凶々しき
由来について
余は子らへと
語り継ぐ
我が子らよ――
いかなる呪いも
祈りと
悔い改めによりて
除かれ得るものと
信ぜよ

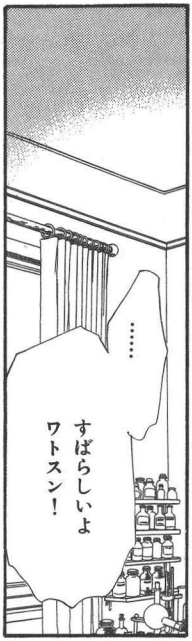

いかなる呪いも——


除かれ得るものと


ワトスン
何か
わかるかね?
221b
BAKER
STREET


オイオイ
ホームズ
どうして
僕のしていることが
わかるんだい
頭のうしろに
目がついている
のかね？
クスッ
THE LONDON
目の前に
磨きのかかった
銀メッキの
コーヒーポットが
あるからね
……
さて
昨夜の客が
忘れていったらしい
そのステッキだが
僕らは不幸にも
外出してしまい
彼に会うことが
できなかったわけだ


この偶然の
置き土産から
何か推定して
みようじゃないか
〈王立外科医学会会員
ジェイムズ・モーティマー氏へ
C・C・Hの友人たちより〉
――一八八四年――
ここに
彫ってあることから
推察すると――
それと
田舎の開業医で
診察のために
ずいぶん
歩きまわってる
どうして？
うまいぞ！
モーティマー博士は
よくはやっている
年輩の医者で
ひとから
尊敬されていると
思うね
ほう
知人たちから
こんな立派なものを
贈られている


……
すばらしいよ
ワトスン！


このステッキは
傷だらけだ
都会の住人とは
思えない
田舎ならではの
つき合いだよ
それにこの
〈C・C・Hの友人たち〉
というのはきっと
〈なんとか狩猟会〉の略だ
……


僕はすっかり
君を
見直したよ
ワトスン君
本当のところ
僕は君に
負うところが
実に多いのだ


どうやら僕も
少しは成長
したようだね！
いやいや
まったく――


君の結論は
ほとんどすべて
間違っているよ！
おい
ホームズ
まったくもって
君の間違いの
数々について
考えることが
僕の思索の
何と助けに
なることか！
…ホームズ？
まず――
モーティマー博士が
田舎の開業医で
よく歩き廻っていると
いうのは間違いないね
だが――
彼はおそらく
人好きのする
野心を持たない
少々粗惣な
三十前の青年で


愛犬——
テリアよりは大きく
マスチフよりは小さい
——そうだな
きっとスパニエルだ
犬をおともにして
散歩する習慣が
あるらしい
見たまえ
歯形がはっきり
ついている
しかも多数
いいかい
ワトスン
医者に
C・C・Hの友人
からの贈り物だ
H・U・N・T（狩猟）
ではなく
H・O・S・P・I・T・A・L（病院）
の方が自然だと
思わないかね
C・C・H——
チャリング・クロス
病院だ
五年前に
ロンドンの一流病院をやめて
田舎に引っ込んだ時に
友人達から贈られた——
そう考える
べきだな


犬の事は調べようもないが
多少のことならこの「医師名鑑」で…
どうやら
本人に確認した方が早そうだよ
ハフハフ
ヤー
いらっしゃい。
おお！
貴方がホームズ氏ですか！


素晴らしい！
いや本当に
これほどとは…
私はこれほど
発達した頭蓋骨を
この目で見たのは
初めてですよ！
これほど長頭で
また眼窩上の
素晴らしい発達
……
お世辞でなく
貴方の頭蓋骨が
欲しくなりました！
えっ？
是非とも
貴方の顱頂縫合を
この指で確認したい
のですが…
どうぞ
お掛け下さい
Mr. HOLMES?
私の頭蓋骨に
ついて
論じるために
いらしたわけでは
ありますまい
Sit Down!



※大反乱時代

我が祖
ヒューゴウ・バスカヴィルの
犯せし罪について
語り記すものなり

『バスカヴィル家の犬』

その凶々しき
由来について
余は子らへと
語り継ぐ

息子らよ

いかなる呪いも
祈りと悔い改めによって
除かれるものと
信ぜよ——

※1642～1660年

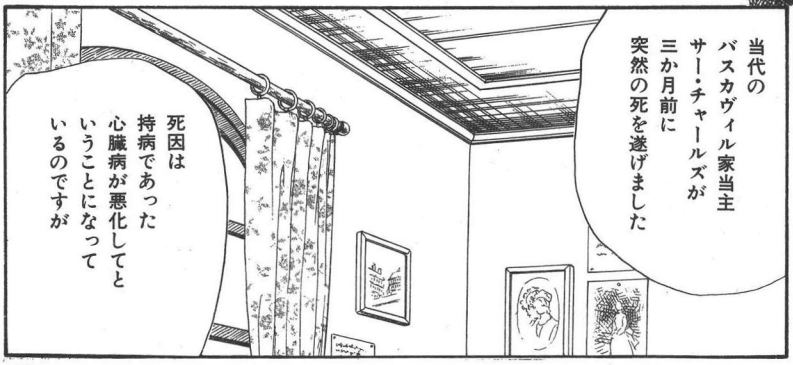

彼の人は
甚だしく粗暴にて
瀆神不敬の人で
あった
またヒューゴウは
淫漫残忍の
気質あり
己が身に降りし災厄
無頼の仲間と
謀りて
乙女を奪い去りぬ
さらに恐ろしき
ヒューゴウの
情欲せまり
乙女は
恐怖のあまり
郷土の娘
麗しき乙女に
横恋慕し
（かくも暗き欲情を
恋という名にて
呼びうるものならば）

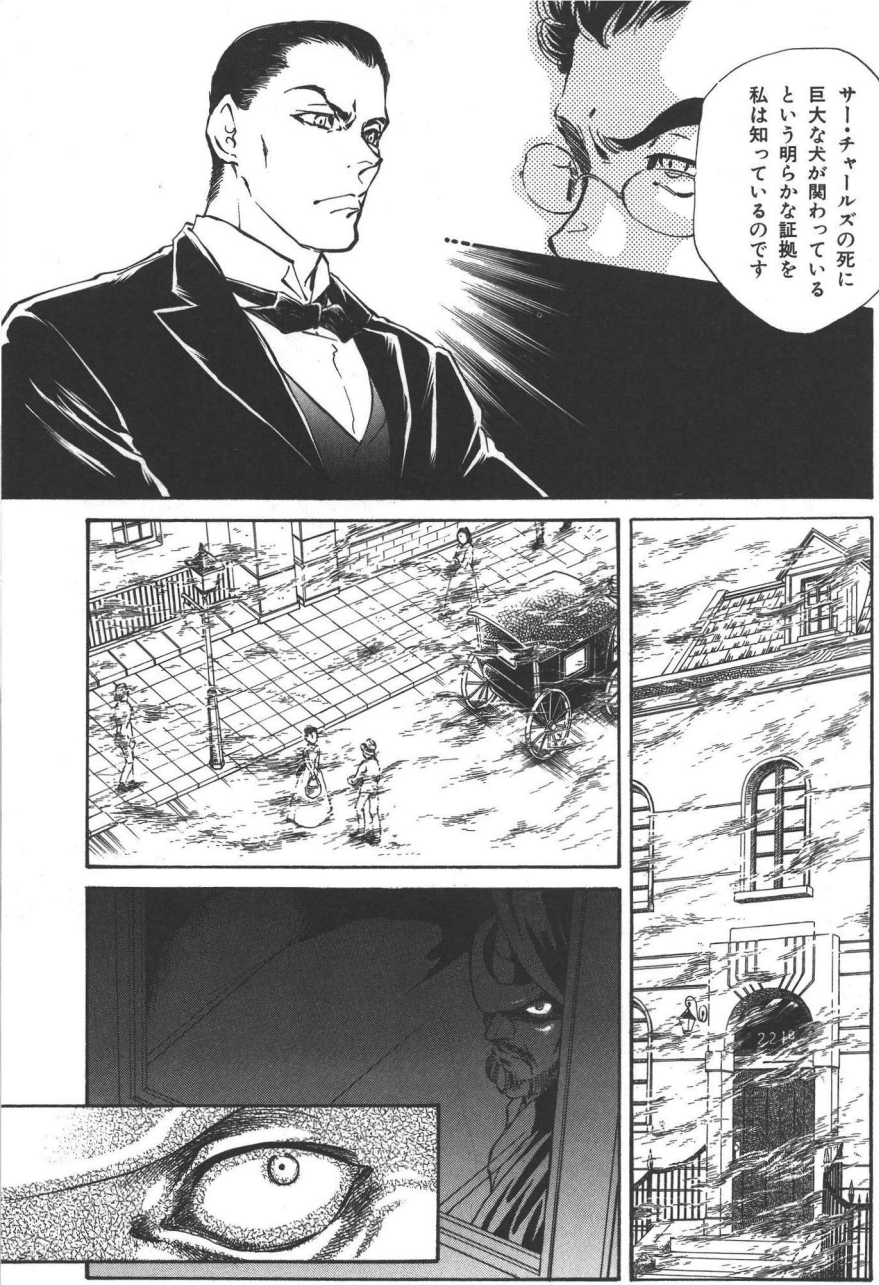

鳥の逃げ去りしを
知りて
彼の人は
悪魔に身も心も
渡したり
乙女を追わんと
猟犬どもを
放ちて——
地獄の犬どもと
ヒューゴウ
乙女を追いて
暗黒の荒野に
消えぬ
時を経て
無頼の仲間共
後を追いしが


谷底に乙女有り
恐怖と疲労の果てに
哀れ力尽きしもの也
さらに
恐ろしきは
ビチャリ
ビチャリ
月明かりに
浮かび上がりし
そのもの


それは
犬の形をしながら
あまりにおぞましき
黒々とせる巨獣
その血のしたたる顎が
捕らえしは
ヒューゴウ・バスカヴィル
その人――
――息子らよ――


これがわが家の
恐るべき呪いとなりし
魔犬の由来なり
あまり興味が
沸かないようですね？
僕は
おとぎ話の収集家
ではありませんからね
では
もう少し新しい
悲劇を
お知らせしましょう


当代の
バスカヴィル家当主
サー・チャールズが
三か月前に
突然の死を遂げました
死因は
持病であった
心臓病が悪化してと
いうことになって
いるのですが


サー・チャールズの死に
巨大な犬が関わっている
という明らかな証拠を
私は知っているのです


サー・チャールズは
就寝前に
屋敷内のいちい並木を
散歩することを
常としておられました
その夜も
お出かけになり
ところが
十二時を過ぎても
お帰りにならない
近在の者で
捜索した結果
サー・チャールズは
いちい並木から
遠くはずれた斜面で
転落して死亡して
おられたのです
その顔は
恐ろしいほどに
ゆがんでおりました


また 足跡から
サーは屋敷とは
反対の方向へ
一直線に駆けた事が
推察されるのです
そしてその足跡を
追うように
ほんの数か所
でしたが
巨大な犬の足跡が
点々と——
三か月前の
殺人事件の
調査ですか？
いえ
もっと切実な
問題が
バスカヴィル家の
唯一残された相続人
サー・チャールズの
孫にあたる人物が
カナダにいることが
わかりまして
この方
サー・ヘンリ・バスカヴィルが
今日の午後にも
ロンドンに到着します


私は
サー・チャールズに
親しくして頂いた
者として
また彼の遺言
執行人として
彼の孫に何らかの
危害のおそれが
あるとしたら
何としても
阻止したいのです！
ガチャ
！
ギィ
ギィ
ギィ
風邪かね
ワトスン？


いや…
ちょっとこの毒煙が…
ああ
…
少々煙たかったかい
昨夜から思索は進んだかね
お陰様で
バスカヴィル館付近の地図を手に入れたよ
なるほど
ずい分な田舎というか――
だがバスカヴィル家の資産は田舎貴族のレベルではない
遺産の総額は百万£近くになる
なんだって!?
故サー・チャールズは大陸で成功して後後継者の絶えた屋敷に戻って故郷に錦を飾ったということらしい


傾いていた
家勢を立て直し
地元へも貢献
できれば
後継者にその後を
継いで欲しいと
地元が思うのは
当然だが
百万ℓという額は
悪事を企むには
充分な額だよ
ここが
バスカヴィル館
一番近いのは
グリンペンの部落で
われらがモーティマー医師
もここに住んでいる
●BASKERVILLE
スティプルトン邸
医師に言わせれば
「なかなか文化的な
会話のできる博物学者で
年中虫捕り網を持って
荒野を駆け廻っている」
妹と一緒に住んでいるとか
ラフター邸
医師いわく
「訴訟好きの
ガンコな老人」が
一人で住んでるらしい
あとは二、三の
農家――
医師いわく
「原人と類人猿の
頭蓋骨の区別も
つかない連中」
それ以外は
見渡す限りの
荒野と湿地だ


悪魔が跋扈(ばっこ)するにせよ
人間が悪事を企むにせよ
似合いの背景だ……
出かける準備はいいかねワトスン？
バスカヴィル家の後継者に会いに行く時間だよ
ここはイギリスの一流ホテルじゃないのか!?


どうしました
ああ
ホームズさん
サー・ヘンリの
靴が――
ヘンリで
良いよ
お気に入りの
皮靴が片方
紛失したのですよ
貴方が
ホームズ先生ですか！
何か
問題が？
モーティマー君の
紹介がなくても
貴方を訪ねる
つもりにはなって
いた所ですよ


今朝
こんなものが
――生命と理性とを尊重するものは荒野より遠ざかるべし――
「コスモポリタン
ホテル気付
サー・ヘンリ・
バスカヴィル様」
あなたが
このホテルに宿泊
されることを
知っていたのは――?
モーティマー
医師(せんせい)だけです
活字を切りぬいた
手紙かい
これは間違いなく
『タイムズ』の活字
だよ
へえ
「荒野」は
特殊な言葉
だからね
なかったのだろう
イタズラ
だとは
思いますが
……
悪意からか
善意からかは
解りかねますが


この人物は
昨日あなた方を
つけて宿泊先を
つきとめ
昨夜のうちに
これだけの作業を
したのですよ
少なくとも
軽い気持ちでは
ないでしょう
御用心なさる事です
つけられて
いたのですか
…？
他に方法は
ありますまい
どちらに
しろ
僕の決意は
固まってます
悪魔だろうと
人間だろうと
僕が故郷へ戻る事を
邪魔できませんよ

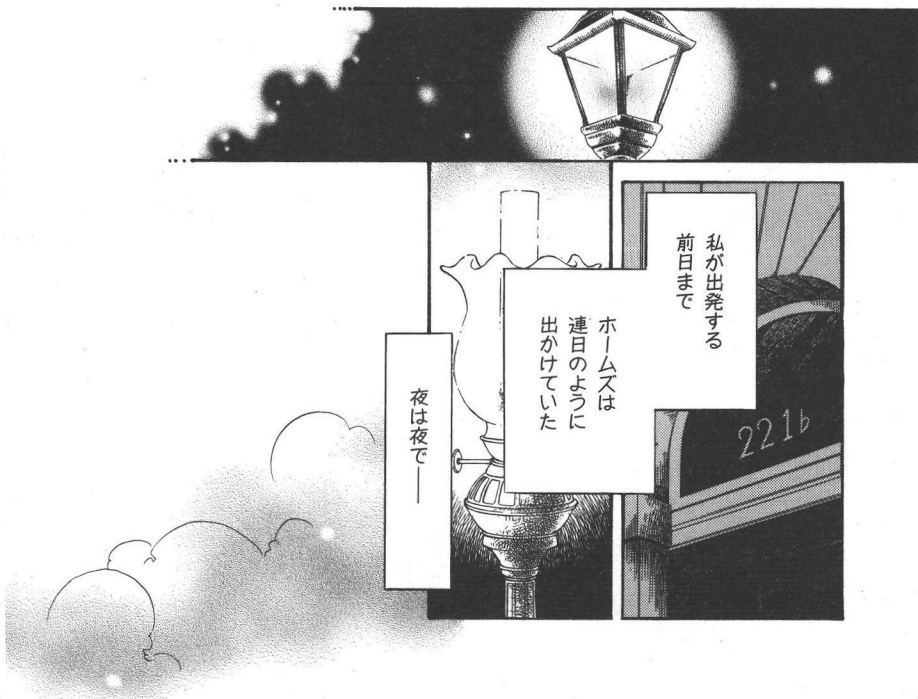

貴方の決意が
固まっているのであれば
僕もするべき事は
決まっています
サー・チャールズの
死の謎を解き
悪魔の正体を
暴く事——
では
我々と一緒に
——
いえ
大変
申しわけないのですが
今手掛けている事件を
片づけるまでは
どうしても
ロンドンを離れる
わけにはいかないのです
僕の代わりに
ワトスン博士に
行ってもらいます
え?

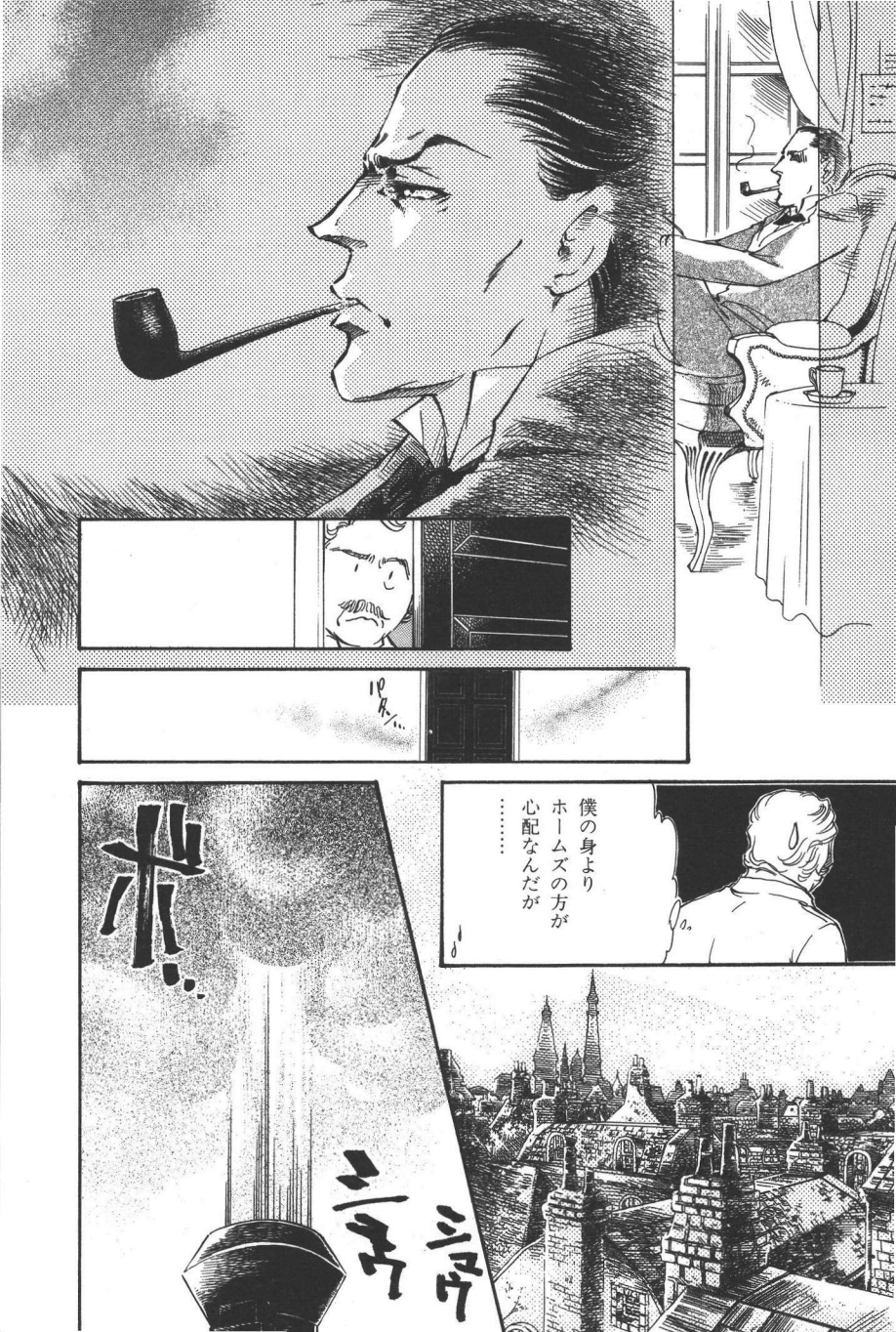

…なに
シッ
そ知らぬふりで歩くんだ
！
尊顔を拝見しようじゃないか


チッ
！
ガラ
ガラ
ガラ
…しまった
僕は何て愚かだったんだ
反対側から廻っていれば…
ヒゲをはやしていたようだが
つけヒゲでないという保証はない


気をつけたまえ
ワトスン君
どうやら〝悪魔〟
という奴は
なかなか
油断ならぬ相手
のようだよ


武器は持って
行った方が
良いようだ——


私が出発する
前日まで
ホームズは
連日のように
出かけていた
夜は夜で——
221b


僕の身より
ホームズの方が
心配なんだが
……
ポ…
ミヨウ
ニヨウ


ガタン
ガタン ガタン
デヴォンシア地方への
旅は早く快適だった
旅の間に私は
すっかり
サー・ヘンリや
モーティマー医師と
うちとけ
医師のスパニエル犬と
たわむれた
やがて——
緑の畑と
波うつ森の彼方に
灰色の丘が広がると


景色は陰鬱に
色を変え
幻想的で
荒々しいものと
なってゆく
ニヤ
どうです
初めて見る
故郷は？
素晴らしい
景色ですね！
汽車は
小さな田舎の駅で
停まった
ガラ
ガラ…


館までは
三十分という
所ですよ
日暮れまでには
着けるでしょう
？
あれは
何ですかな？
…兵卒(へいそつ)の
ようですな
あちらの丘にも
いる
モーティマー君！


久しぶり
ようこそ荒野へ
どうも
サー・ヘンリ・バスカヴィル卿ですよ
ああ！スティプルトンさん!!
そちらが
何かあったのかい あの兵たち
十四マイル先のプリンスタウン監獄から脱走者が出たのだそうですよ
ええっ!?
もう三日というものあんな調子で
しかもその囚人というのがあのセルデン…
！
〝ノッティング・ヒルの殺人鬼〟かい!?
早く見つかってくれないと採集にも気を使うよ…


今の声は
――？
聞こえましたな
何か動物の
声のような――
ああ
それなら
あちらの
グリンペンの
大泥沼で――
泥沼？
遠目にはわかりませんが
誤って踏み込めば
人間だろうが
動物だろうが
お終いの底なし沼です
昼間そこに
野性の子馬が
はまっているのを
見かけました
その断末魔かも
知れません――


どうか近いうちに
館にいらして下さい
サー・チャールズ同様
お付き合い頂ければ
喜んで！
見えて
来ましたよ
あれが
バスカヴィル館です


ようこそ
サー・
ヘンリ
バスカヴィル館へ
ご安着
心よりお喜び
申し上げます
当館執事の
バリモアと
申します
こちらは
家内の
イライザ
あ…
ああ
ありがとう
今後よろしく
お願いするよ
この屋敷にも
庭にも
もっと灯りが
必要だね
かなりの人手は
必要かと存じます
家内も私も
新しい者が採用に
なりますまで
喜んでお仕え
いたします

君たちは暇を取ると言うのか!?

旦那様さえよろしければ

どうして

サー・チャールズ様はひっそりとお暮らしでしたので私どもだけでお世話がかないましたが

サー・ヘンリ様はご交流も広い事でとても人手が足りません

多くの者をお雇いになるべきかと

君たちはそのままでも良いじゃないか

…私どもは大変サー・チャールズ様をお慕い申し上げておりました

……

この屋敷におりますとどこを見ましてもサー・チャールズ様を思い出し…

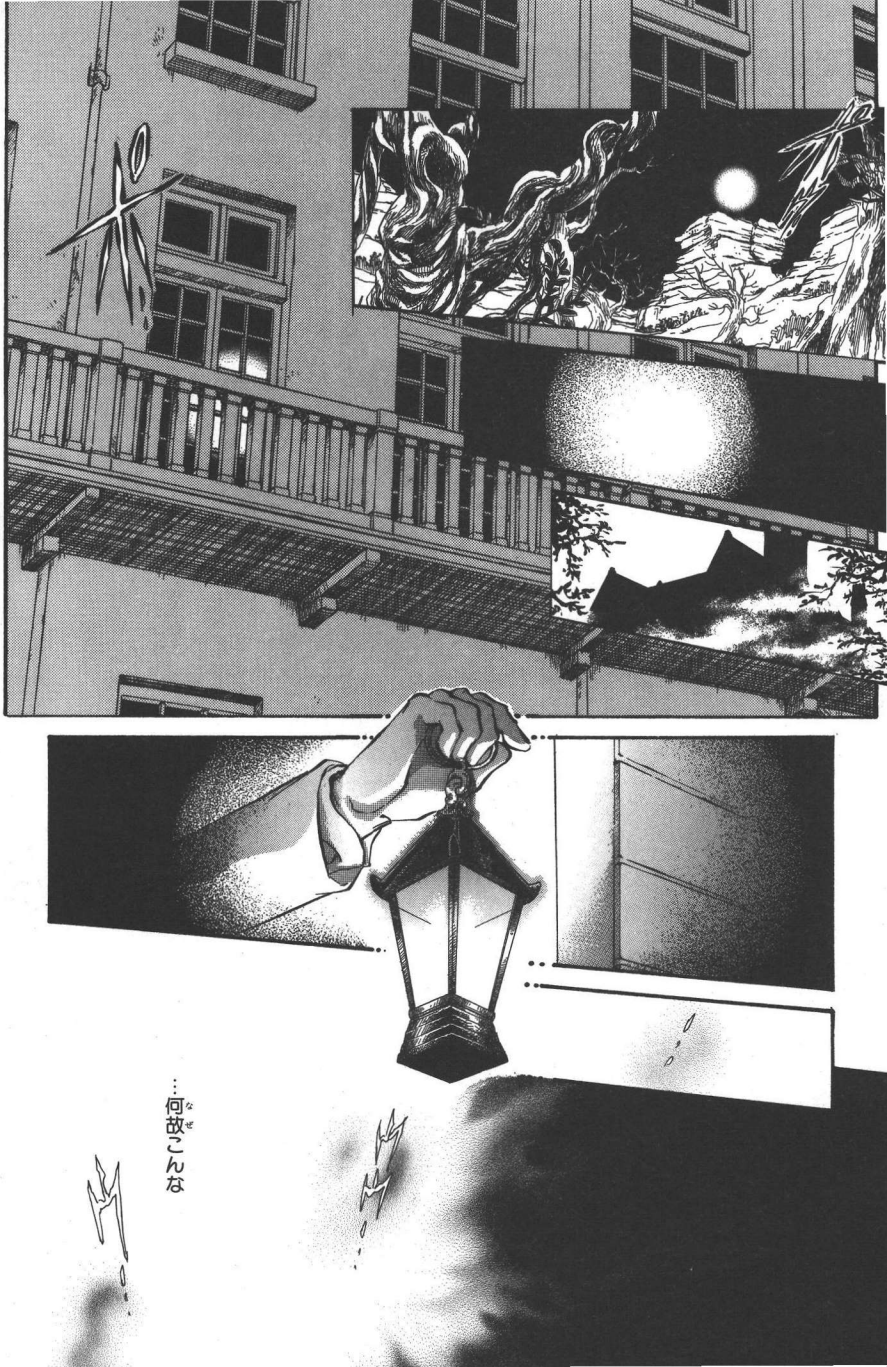
悲しみが癒えないのでございます

そうか…


辞めてどうするつもりなの？
もったいない事にサー・チャールズ様の御遺言により少々まとまったお金をいただきました
それを元手に商売でも始めようかと…
そうか
もちろん館の人手が揃いサー・ヘンリ様の環境が整いますまでお仕えさせて頂くつもりでございます
お食事になさいますか？
ああ！ありがとう

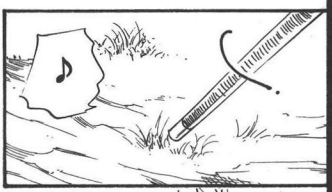

狭いロンドンに
住み慣れた私には
部屋の広さや
天井の高さに
少々落ち着か
なかったが
……
やがて
旅の疲れも
出たのか——
夢の中で
す……


まっ黒な馬が
黒い沼に飲まれたり
巨大な犬が
牙をむいたり
したようだ
しまいには
どこかから
女のすすり泣く声が
聞こえたりした


…何故(なぜ)こんな

もう…悲劇は…





朝日の中で見ると
荒野はその様相を
まったく変えていた

背の低い木々も
荒れ果てた土地も
生命にあふれ
鳥の声も楽しげだ


ポン
ホームズへの
レポート
第一弾♡
ホームズが
着くまでの間
可能な限り
見た事聞いた事を
伝えなければならない
それが
私に託された使命
なのだから
そう
よろしく
ロンドンへ
丁度
あるよ
ああ
良いんだよ


この手紙はね
届ける必要は
ないのさ
Sherlock Holmes
221B Baker St
don
軽い足音に振り返ると
見たこともない
淑女(レディ)が駆け寄って
来るところだった

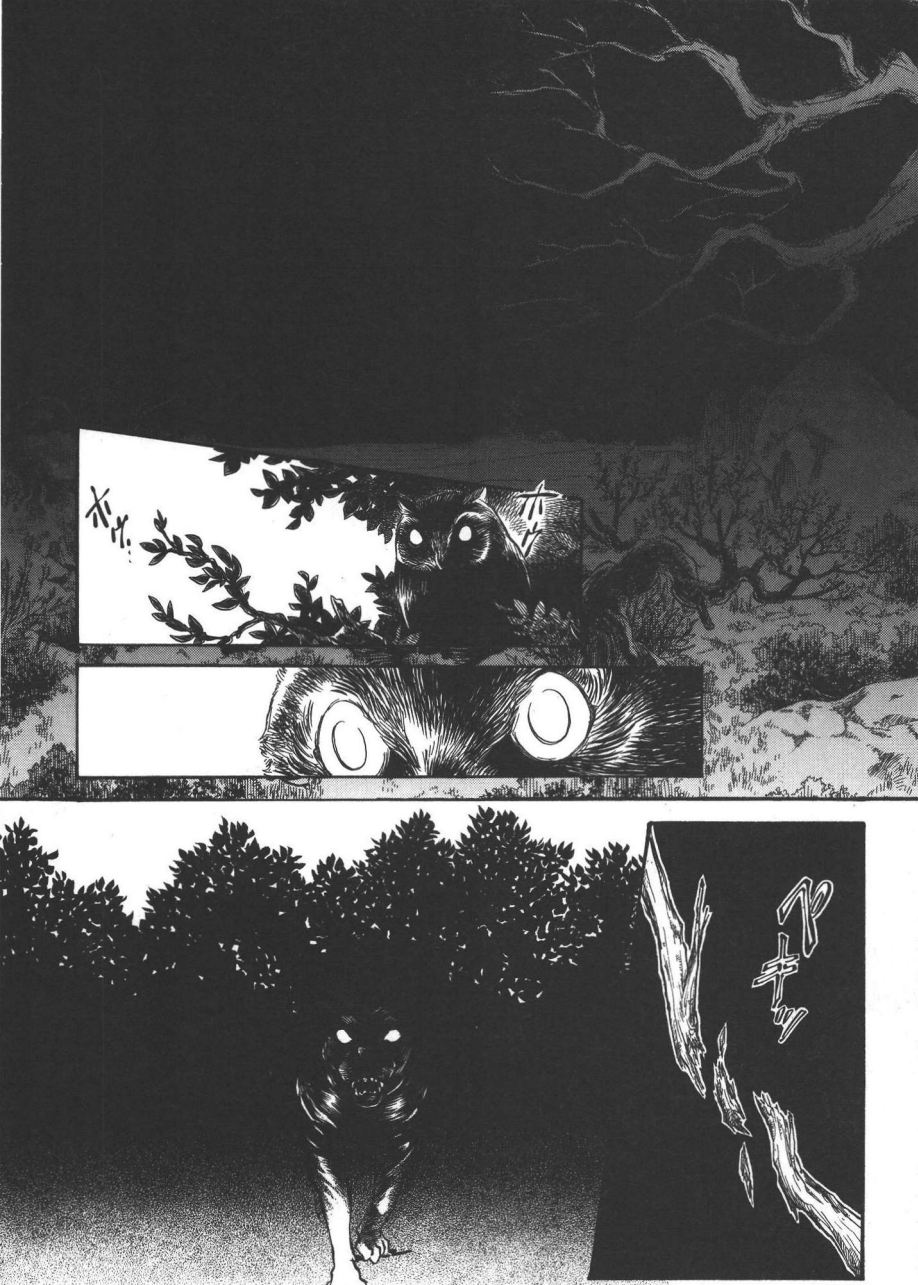

お帰りになって！
これは貴方のための警告です
!?
今すぐロンドンにお帰りになって
そして二度とこの荒野に来ないで下さい

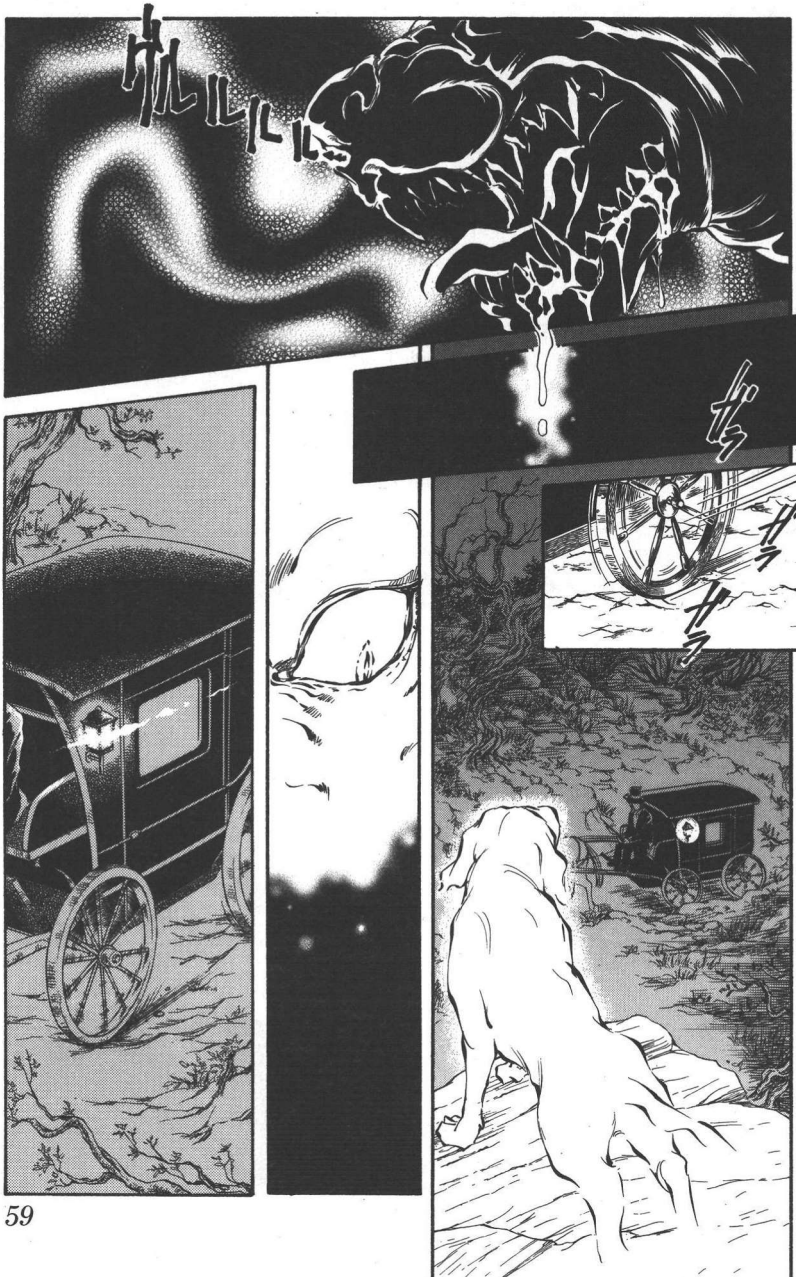

どうしました？
あれは…
ステイプルトン君の妹さんですな
何か
へえ
似てない兄妹ですね！
はは…
鄙にはまれな麗人でしょう？
あの虫にしか興味のない男の妹になぜあんな…
何の話かねモーティマー
おっと失敬
奥さんに言いつけるぞ
それは勘弁してくれたまえ

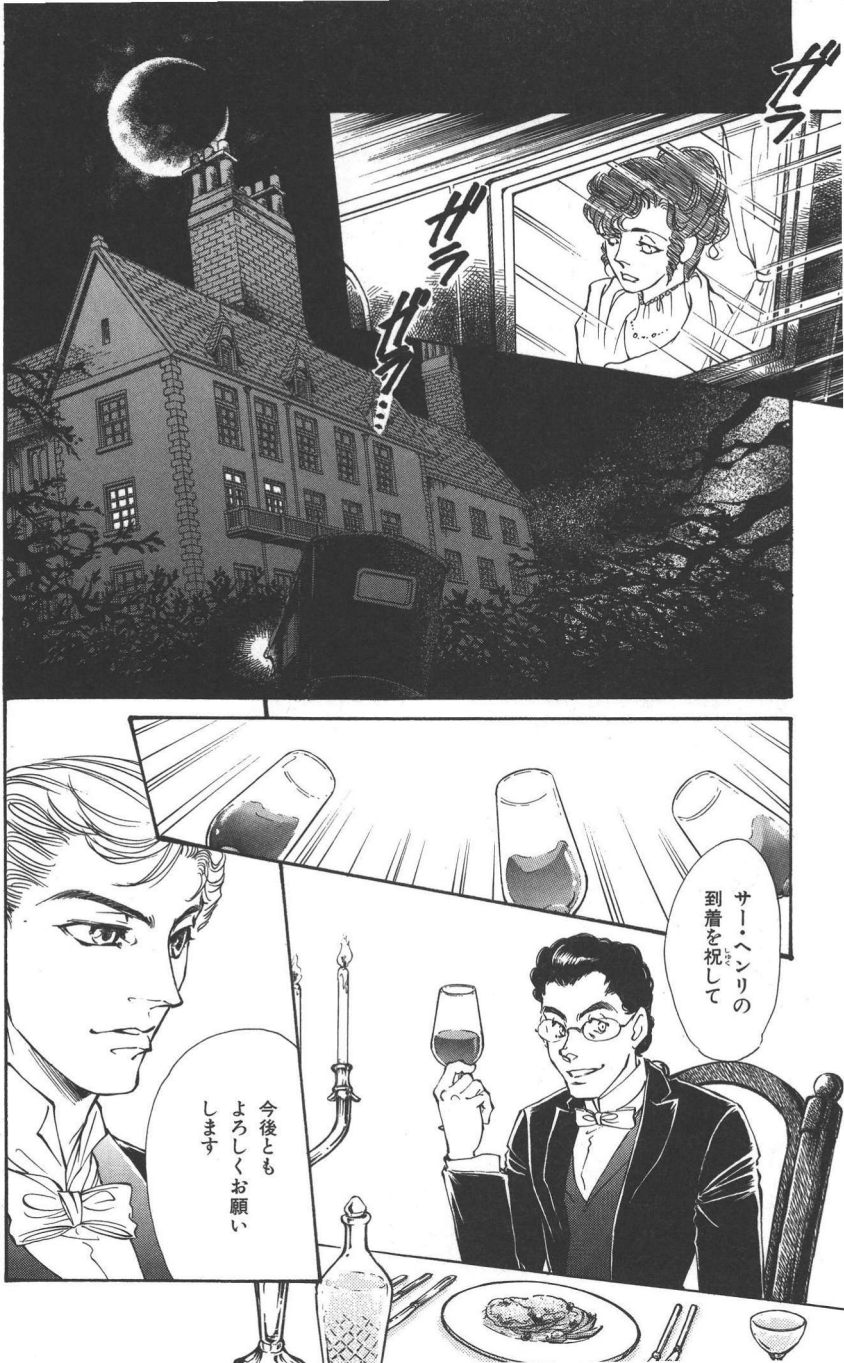


バスカヴィル家の犬／前編◆END


バスカヴィル家の犬
The Hound of The BASKERVILLES
―中編―


ガサ…
ガサ!
ヤキ…


ガラ
ガラ


ガラ
ガラ
ガラ
サー・ヘンリの
到着を祝して
今後とも
よろしくお願い
します


サー・チャールズは
すばらしい隣人じゃった
お若い人には
この荒野は
退屈かもしらん
が――
いえ
そんなことは――
ラフター・
フランクランドじゃ
わしの趣味は
天文観測と
訴訟でしてな
誰の目にも


若きサー・ヘンリが
美しき隣人
ベリル・スティブルトンに
心を奪われたことは
明らかだった
彼女はまた
私には
初めて出会った
かのように
振る舞っていたが
お帰りになって！

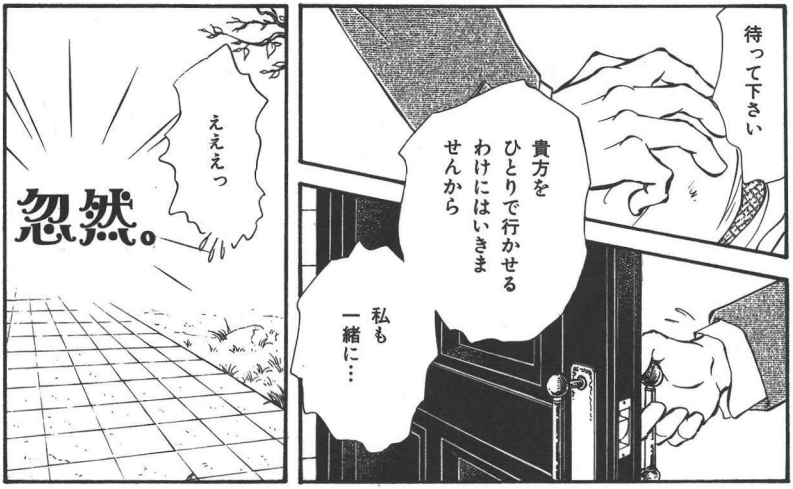

楽しい夜でした
今後ともよろしくお付き合い下さい
ガラ
ガラ
だいぶ慣れたとはいえやはり夜の荒野は不気味だ

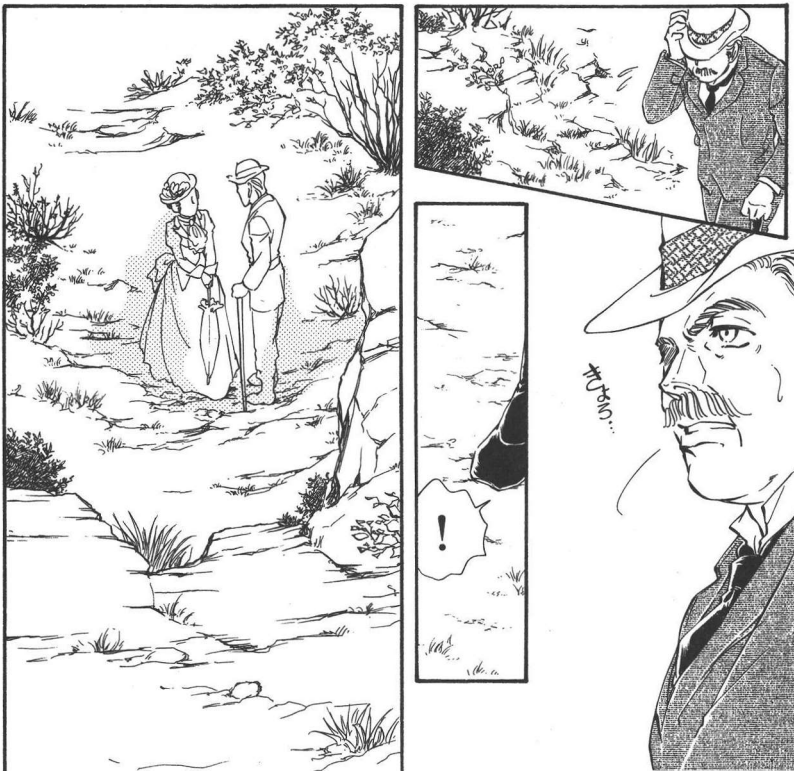

ホームズ
早くそちらの事件が片づいて
君がこちらに来られる事を待っているよ――
ロンドン
ガタガタ
ガタ!
ギ!


シッ
サー・ヘンリ？？
何事です
ボウ


——バリモア？
何をしているんでしょう？
わかりません
が
今晩が初めてではないのですよ
！
あ
荒野の方でも何か灯りが…？
灯で合図を送り合っているのか
相手は何者なんでしょう？
ギ…ギギ…
——今の音は

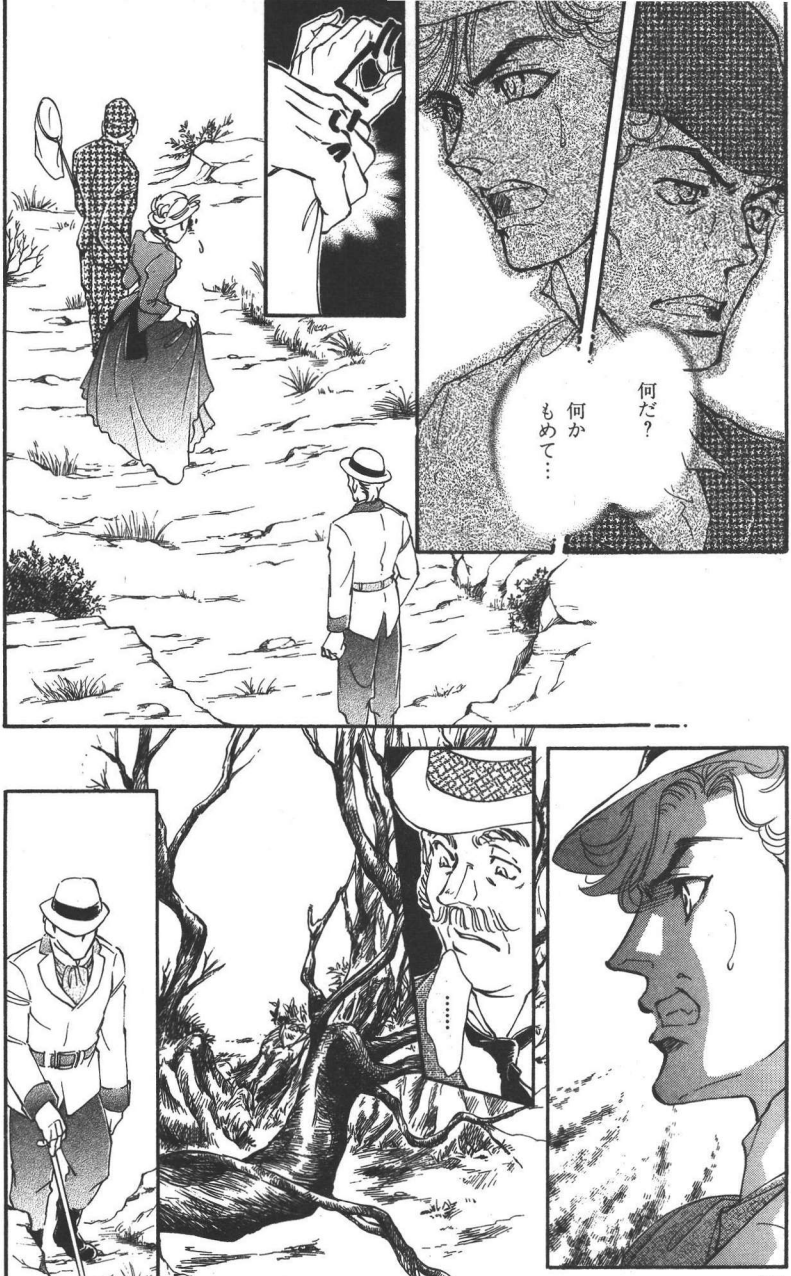

誰か館の外へ出て行ったんじゃあ……？
こんな時間に？
追うことも考えたが
灯を見失って諦めた
日を改めての冒険になりそうだ
また——
こんな事もあった
サー・ヘンリ！
どこへ行かれるんですか
いやちょっと散歩に


待って下さい
貴方を
ひとりで行かせる
わけにはいきま
せんから
私も
一緒に…
ええええっ
忽然。


きょう…
！

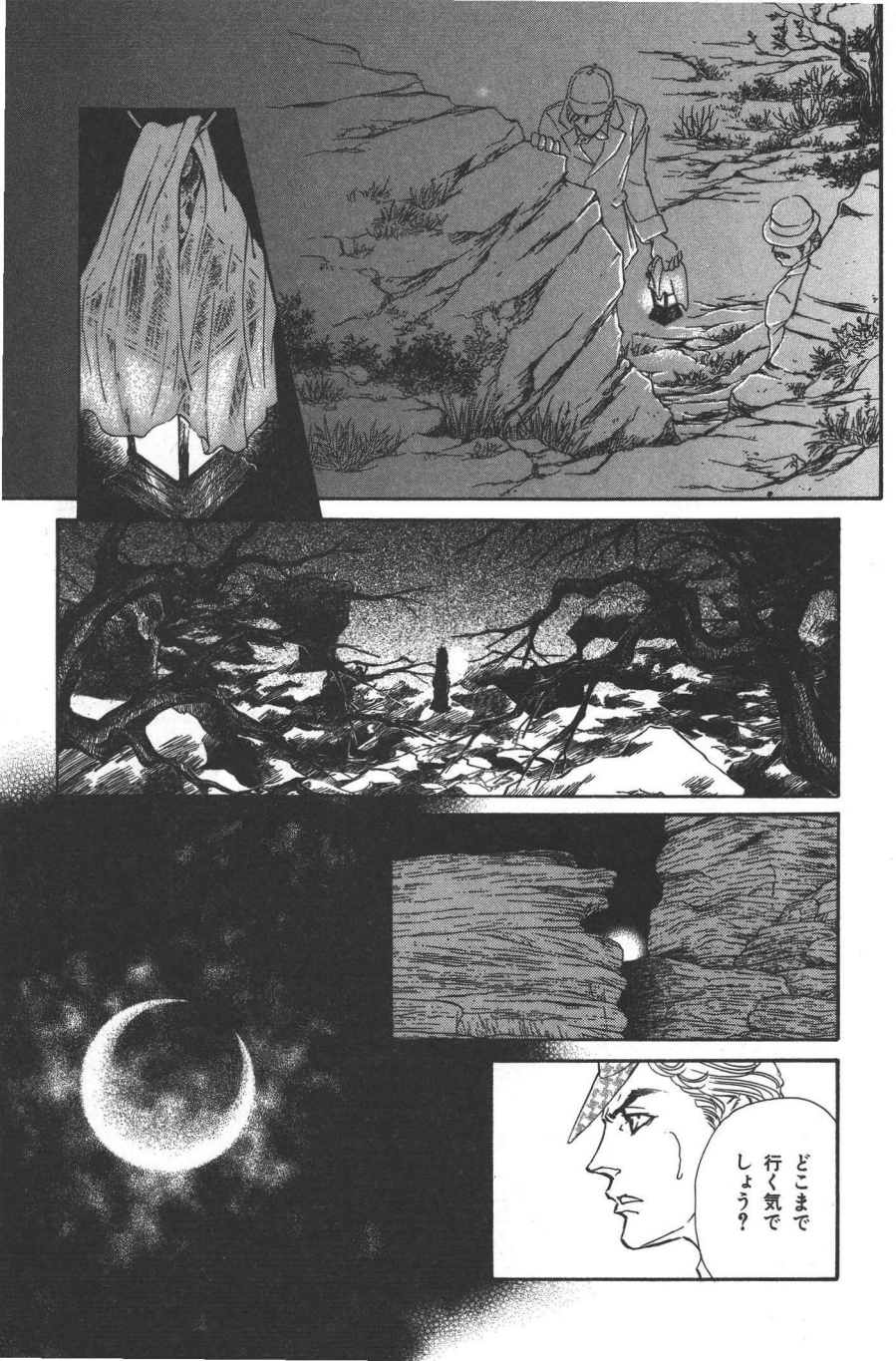

…おやおや


邪魔者はついて来るなというわけか
しかしなあ…
あれは
ステイプルトン君か――？
え？？


何だ？
何か
もめて…
……


いつから
尾けて来たんです？
ホームズさんの
言いつけですか？
不愉快に
させたのでしたら
謝ります
！
いや
別に――
あの兄貴は
どうにかしてますよ
まるで妹が
自分の所有物か
何かのように
妹の結婚相手として
この私に何の不足が
あるというんだ
まあ…
ひとには各々
事情というものが
ありますから――
そんなわけで


私とサー・ヘンリの間にいささかの隙間風が起こり
少々困惑していたのだが――
数日後の夜
ポッ
ゆら…
ぎろっ
ええ！
――行きましょう！


どこまで
行く気で
しょう?


女房の方ですか!?
!
バリモアじゃない!?
女だてらにこんな夜中の荒野を…
よほどの事態ですな


こんなところで
何をしてるんだ?
だ
旦那様(だんなさま)っ
何をしていたかと
聞いているんだ
何でも
ありません
何を
置いた?
何も
これは…
食料品と
燃料ですな
あ
ああ
後生(ごしょう)です
旦那様っ
一生のお願いで
ございます
どうぞ
お見逃し下さい…


何を
していたかと
聞いているんだ!?
!
危ないっ
サー・ヘンリ!

ウッ
ウウッ
ウ
…
ウ
ウウッ
あ…
ハッ
ハッ

くっ…
おやめっっ
やめなさいっ
セルデン!!


セ…
セルデン
だって…!?
う
うう…
脱獄囚のか…っ
あっ
おいっっ
……

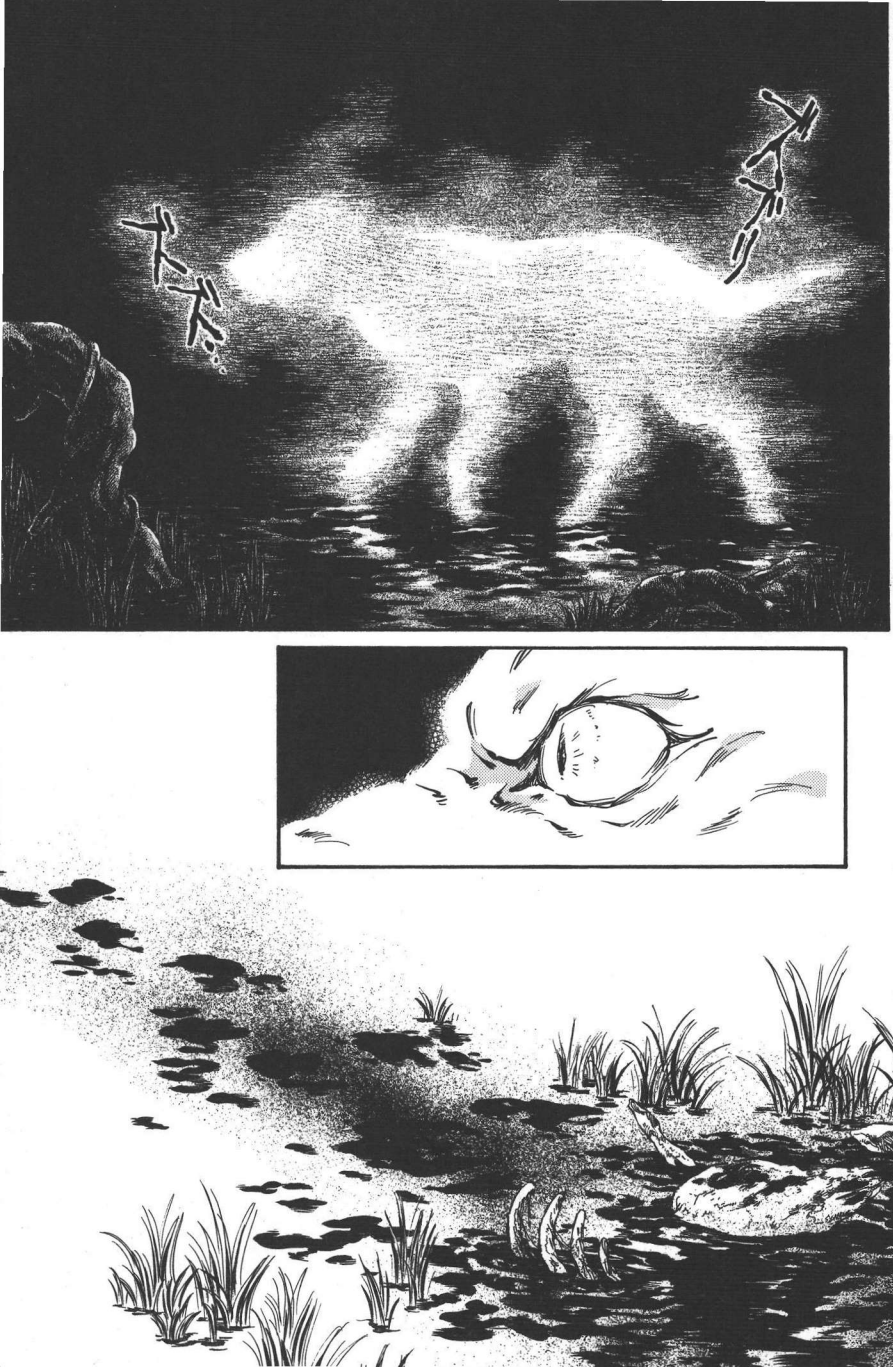

きちんと
説明をしてくれ
黙っていては
わからないよ
バリモア
主人のせいでは
ありません
すべて私が
悪いので
ございます
セルデンは…
あれは
私の弟なので
ございます
なんだって!?


あれが
プリンスタウンの監獄から
脱獄したと聞いた時
私は生きた心地も
しませんでした
ですが
結局は
唯一人の肉親
頼られれば
何とかしてやりたくて
いえ！
国外へ
行かせます
外国へ逃がすよう
もうすぐ手配が
整うはずでした
だが
犯した罪は
罪だ
この土地の者に
害でも
なしたら——
いえ
いいえ！
凶悪な
殺人犯だろう!?
長い監獄暮らしで
すっかりもう
大人しくなって
おります
さきほど
暴れましたのも
怯えてしまって


どうぞお慈悲を
旦那様
弟はもう
二十年近く
充分
苦しみました
このまま
監獄にあっては
狂ってしまうこと
でしょう
あれは
ただもう…
静かに暮らしたいばかりの
老人になっております…
どうぞ
お慈悲を…
…うくむ
…どう
思われます
ワトスン先生


本当に大人しく
国外へ行くと
いうのでしたら
今後 奴に
かかったであろう経費を
我が国が負担する
責からまぬがれますな
――わかりました
一刻も早く
国外へやるがいい
ありがとう
ございます！
この御恩は
忘れません!!


…ああ…
…神よ！


ドドド。
メガネ


ふむ
こんなものかな
古いものだがまだ充分に着られるだろう


あの格好では
外国航路船に
乗ることもかなうまい
身だしなみを
整えさせて
旅仕度を
させるといい
ありがとう
ございます
旦那様
何と御礼を
申し上げて
よろしいやら
早く出ていって
欲しくて
することだ
礼の必要はない
……
旦那様
こうまでして
頂いた御礼に
申し上げたいことが
ございます
サー・チャールズ様の
死に関することで
ございます


これは
私しか知らない
ことなのですが
あの方(サー・チャールズ)が なぜ
あのような時間に
あのいちい並木に
お出ましになったか
——
どうしてだい？
それは
とある御婦人に
会うためで
ございました
婦人？
名前は？
いえ——
そこまでは
ただ
頭文字は
わかっております
〝L・L〟でした
どういう
ことだね？
あの日の朝
一通の手紙が
参りました
クーム・トレーシー
からのもので
女性の筆跡(ひっせき)でした
それっきり
その事は
忘れて
おりました
が…

つい先日
サー・チャールズの
書斎を掃除
いたしまして

お亡くなりに
なってから
手をふれぬように
しておりましたが

ヘンリ様に
失礼があっては
ならぬと思い

その時
暖炉(だんろ)の
火床の奥に
——

?

——紳士へのお願いで
ございます
この手紙は必ず燃やして
下さいませ
そして十時までに
門のところにおいで下さいませ——
L, L

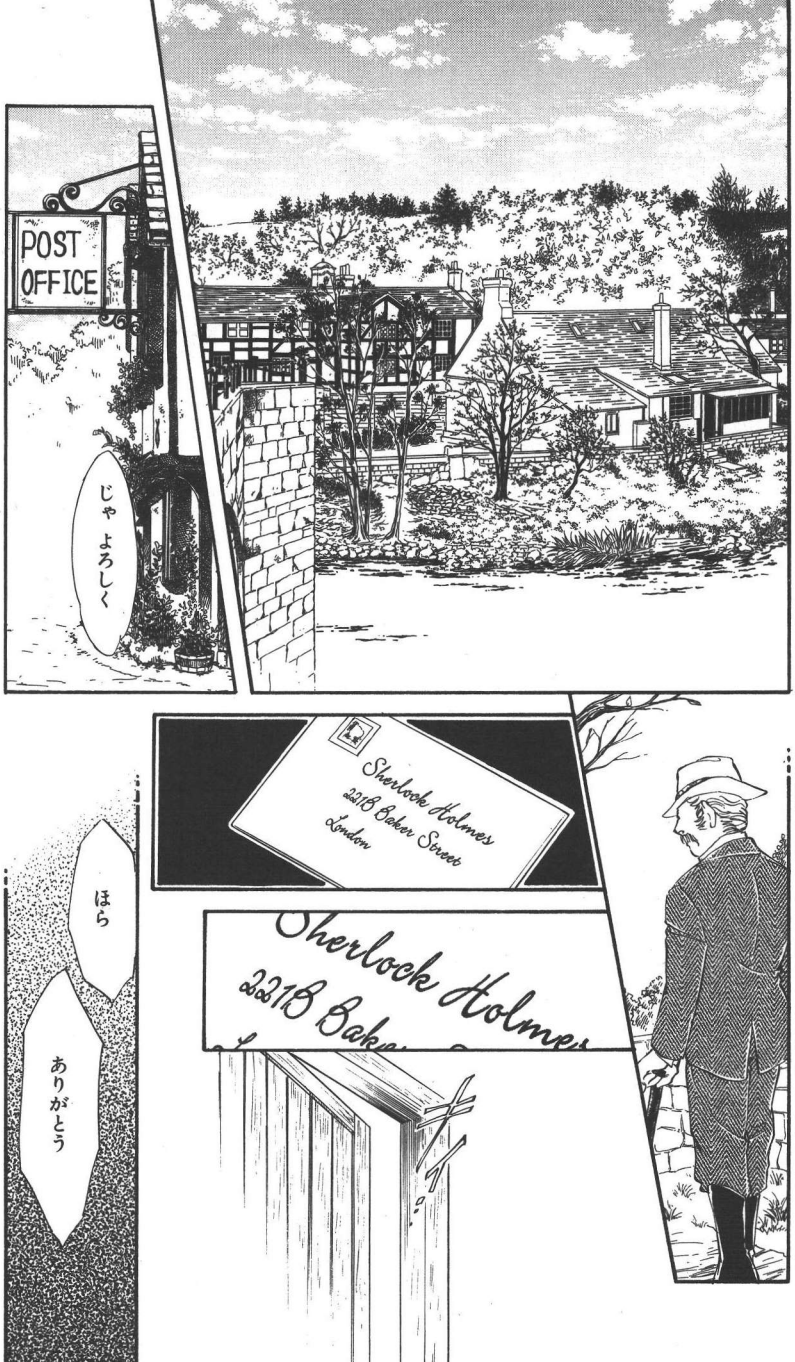
それは明らかに
手紙の燃えさしで

消しズミになって
おりましたが
かすかに——

これは大事に
取っておかねばと
思いましたが

手をふれた
途端——


どうして今まで黙っていたんだね？
検審はとうに終わってしまいましたし
何よりあの方の名誉を傷つけたくなかったのでございます
ですが――
どう思われますワトスン博士？
――重要な情報です
すぐにホームズに報せましょう！


POST OFFICE
じゃよろしく
Sherlock Holmes
221B Baker Street
London
Sherlock Holmes
ほら
ありがとう


いただいて
行くよ
Sherlock Holmes
221B Baker Street
London
ワトスン博士！
やあ
フランクランドさん
散策ですかな

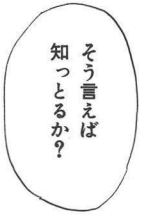



少し寄っていかれませんかな
おお！
ありがとうございます




お一人で暮らされているんですか？
おうさ
忙しくって掃除をするヒマもない


家族なんてモンは裏切りと揉め事の温床だし
使用人は盗人ばかりだ
ほほ……
一人が気楽じゃよ


そう言えば知っとるか？

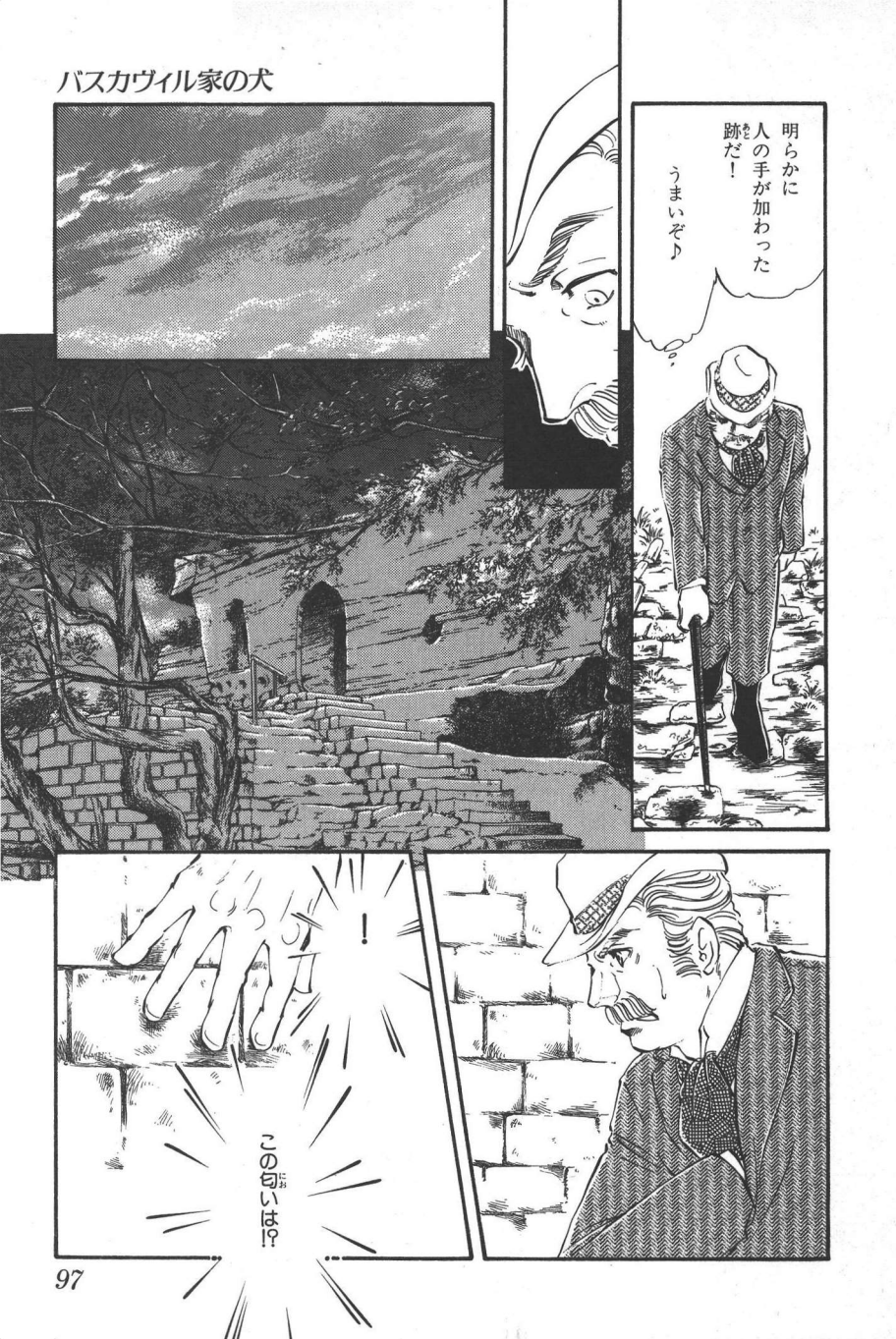

荒野の外れに脱獄囚が潜んでおるのを！
え？
ええ…
まあ…
ふっ
じゃが具体的な隠れ家までは知るまい？
……
わしの望遠鏡は当代一流の逸品じゃからの
荒野のどこに潜もうとこのわしの目から逃れることはできんのじゃよ！
聞きたいかの？
はいぜひ
そうかそうか
あれは大昔のバスカヴィル屋敷の跡じゃな
荒野のずっと西――

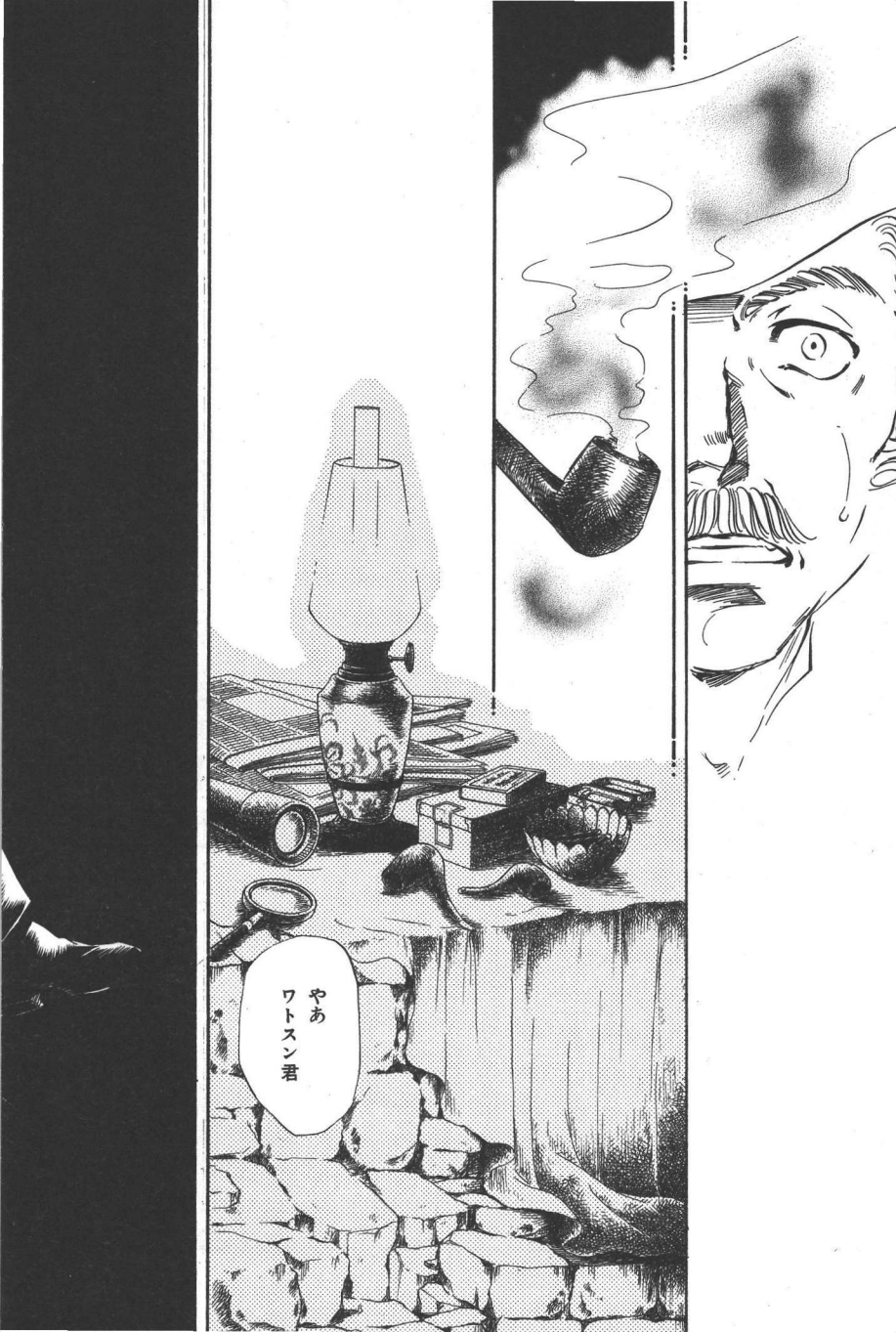


荒野にもう一人

何者かがいるという事か!?


参った
こちらの方は
よくわからないな
モーティマー君
にでも
同行して
もらえば
良かった……
これは！


明らかに
人の手が加わった
跡だ！
うまいぞ♪
？
！
この匂いは!?


やあ
ワトスン君


気持ちの良い
夕刻だね
君の最新の
このレポートは
素晴らしいよ！
実に詳細
かつ
適確だ
Sherlock
221B Bak
Lond


ホームズ!!!
ガラ
ガラ
心配することはないよ
ステイプルトン君
いや……
あれは明らかに言い過ぎだった

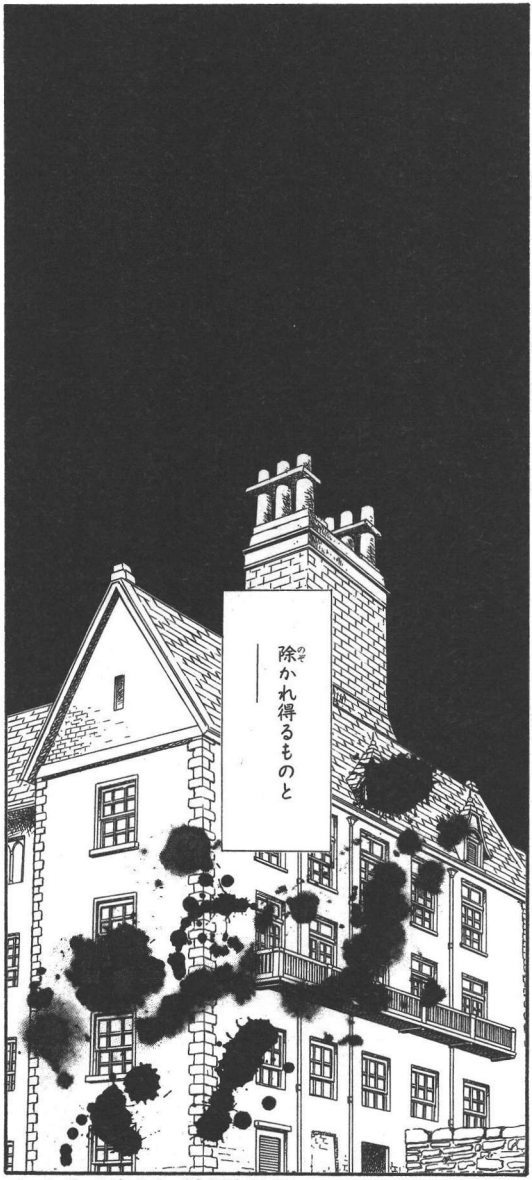

サー・ヘンリに
失礼したと
今では反省して
いるよ
しかしね
モーティマー君
僕にはもう
妹しか身寄りは
いないんだ
その妹を
取られてしまいそうだと
思ったら
頭に
血が昇って
しまって…
その気持ちは
よくわかる
僕も口添えを
するから
なに
大丈夫さ！


どうしたい？
…いや
今何か――
叫び声がしたような――
おいおい
よせよ
すまない――
ガルルル
ルル…
!?


ボタ
ボタ
ボタ
さらに
恐ろしきは
月明かりに
浮かび上がりし
そのもの


それは
犬の形をしながら
あまりにおぞましき
黒々とせる巨獣


その血のしたたる顎が捕らえしは――
サー・ヘンリ!?
――息子らよ――
犬!!

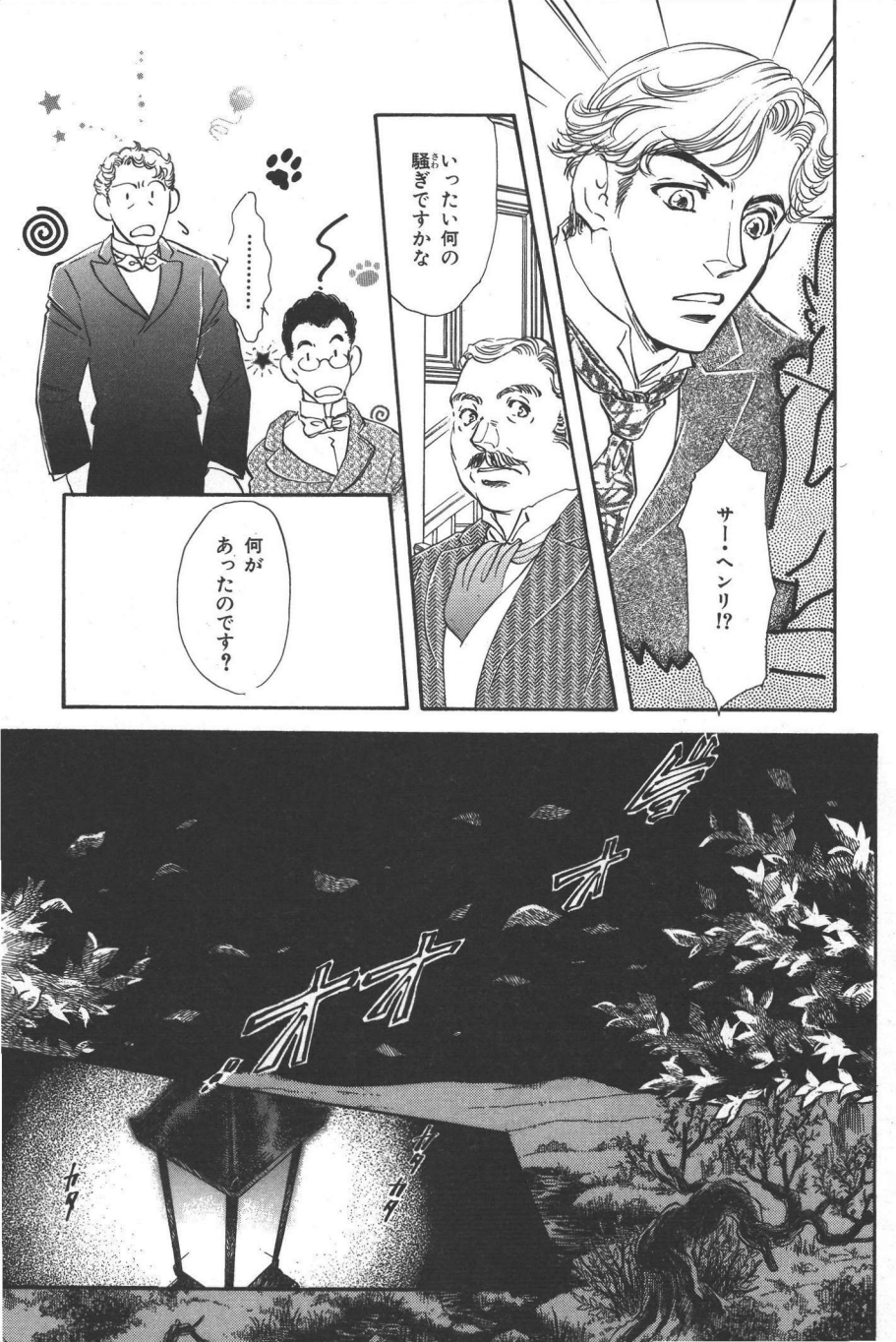

いかなる呪いも
除かれ得るものと


バスカヴィル家の犬
The Hound of The BASKERVILLES
——完結編——


ガラ
ガラ
れん
ドン
ドン
バリモア！
バリモア！
大変だ!!
サー・ヘンリが…
ドン!!
ガシャン!!


何か…
大変だっ
サー・ヘンリが
殺されたんだっ
…え
バスカヴィルの
魔犬に……
何事ですかな
とにかく
ひどい状態なんだ
警察に連絡
してくれ
それから…


ホームズさん!?
…ホームズ?
僕が何か?
ああ
ホームズさん
遅かった…
せっかく来て
頂いたのに
サー・ヘンリ
は…


サー・ヘンリ!?
いったい何の騒ぎですかな
……？
何があったのです？
オオ
ガタ


この男…
監獄の入れ墨があるな
この服は確かにサー・ヘンリのものだと思ったのですが……
…何とむごたらしい
う…っぷ


…セルデン!?
…あ!
南無
セルデン!
セルデン
!!
サー・ヘンリがご無事で何よりでしたな
モーティマー君
……まあ


しかし なぜ
セルデンが
襲われたのでしょう
魔犬の呪いは
バスカヴィルの一族に
かかっているのでは
……？
セルデンには
気の毒なことを
した
！
僕の荒野での
唯一の隣人であった
男だからね
……しかし
どうして

哀れな あの罪人は
サー・ヘンリと
間違われたのさ

！

そうか
服か！

モーティマー君たちも
間違えたくらい
だものね

犬に見た目は
関係ないよ

覚えているかね

ロンドンのホテルで
サー・ヘンリの
靴が紛失したと
いう騒ぎを

ああ

靴を手に入れた
〝犯人〟は――

！


〝魔犬〟に
サー・ヘンリの匂いを
覚えこませた――
つまり
〝魔犬〟は
彼の匂いを追い
そして狩るように
調教されているのさ
だから
サー・ヘンリの
古着を身につけた
セルデンに
襲いかかった
君には犯人が
わかっているのかい!?
……
ああ
知っているよ
それは
一体……


知ってはいる
それは
こちらに来て
確信に変わった
だが
証拠が
ないのだ——
ヒュ〜
呪いなど
存在しない
オオ
この世に
恐ろしいものが
あるとするならば
呪いや伝説に
潜む
人の悪意
それに怯える
人間の心の影に
すぎないのだよ


オオオ
シャーロック・ホームズだって？


荒野を知らない者に
何ができるというのだ
ここは
ロンドンでは
ない——
そうだ
腹をすかせて
おけ
じきに
思いっきり
喰らわせてやる


人間の肉を
たっぷりと――
ガラ
ガラ
ガラ
!
お出かけですか？


モーティマー君！
クーム・トレイシに行くんだよ
へえ？
新たな手掛かりが見つかってね
何なら馬車で送ってさしあげましょうか
さしあたって今日は用もないですし
そりゃありがたい
馬丁のパーキンソンが体調が悪くて村で探すつもりだったんだ！
なあホームズ？


……
御厚意
感謝します
サー・ヘンリ
お手紙が
届いております
ありがとう
――！
ああ
バリモア
夕食はいらない
今夜は
ステイプルトン君
のところで頂くよ


さあて
今夜は
忙しいぞ
…ジャック…
お前も
せいぜい着飾って
サー・ヘンリを
出迎えてくれ
館主さまの機嫌を
損ねるわけには
いかないからな


……


ガラ
ガラ
ガラ


サー・チャールズは
その手紙で呼び出されて
亡くなったという事ですか!?
ええ
その差し出し人と
いうのがですね
〝L・L〟
――ローラ・ライオンズ
何とあの
ラフター老人の
娘だったんですよ
ええ!?
確か彼女は
勘当されたと
聞いてますが
――
老人の
意に添わぬ男と
結婚したとかで――
いったい
サー・チャールズと
どんな関係が――


——ええ
確かに
サー・チャールズに
手紙を出しましたわ
あれほど
燃やして下さいと
お願いしたのに
……
何のために？
……
少しばかりの
援助をお願い
したかったのです
父とは
絶縁して
おりますし
夫に先立たれた
女がひとりで
体面を保つのは
容易なことでは
ありませんから！
あの方は
サー・チャールズは
御親切な方だと
知っておりましたので
この窮状にきっと
手を貸して下さると
思ったからです
ですが
あの夜——

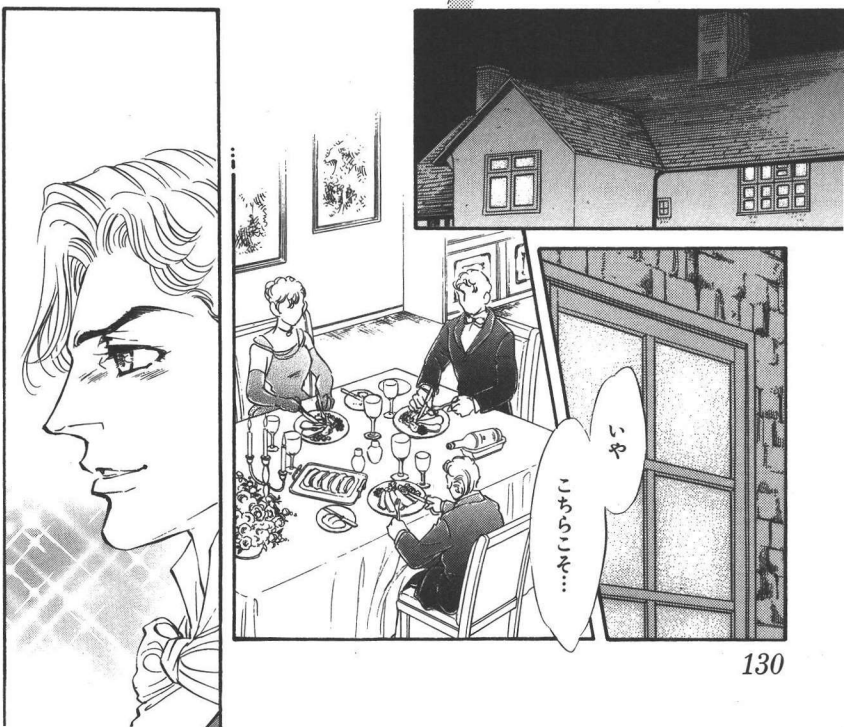

寸前で状況が変わり
私は誓って
バスカヴィル館には
行っておりません！
状況が
変わったとは？
…別の方が
用立てて
下さいました
翌朝
サー・チャールズが
あんなことに
なったと知り
名乗り出て
要らぬ不名誉を
こうむる事は
避けるべきと
思いましたので
今まで
黙っておりました
別の方と
いうのは…
貴方には
関係のない
ことですわ！
その人物が
手紙を書くよう
勧めたのでは
ありませんか？
！
……


言いたくありませんわ！
そのためにサー・チャールズは……っ
！
失礼しよう
……
ローラ夫人
貴女
ベリル・ステイプルトンは本当は兄――いやジャック・ステイプルトンの妻だということは御存知ですか？


!?
!!
そんなっっ
ガターンッッ
そんな…
失礼


お
おいっ
ホームズ…
いやだから…
答えを
聞くまでもない
彼女の顔色が
すべてを
物語っている
…
いったい
どういう事
なんだい
僕がロンドンで
手間取ってしまったのは
ステイプルトン夫妻の
素性を調べるのが
事のほか手間取ったので
無論
失礼ながら
モーティマー医師
あなたの来歴も
調べさせて
頂いたが
…しかし
どうして
妹なんて…
何の意味が…


持ち駒として
考えた場合
妻よりも
妹にしておいた方が
ずっと役に立つ
そういう事です

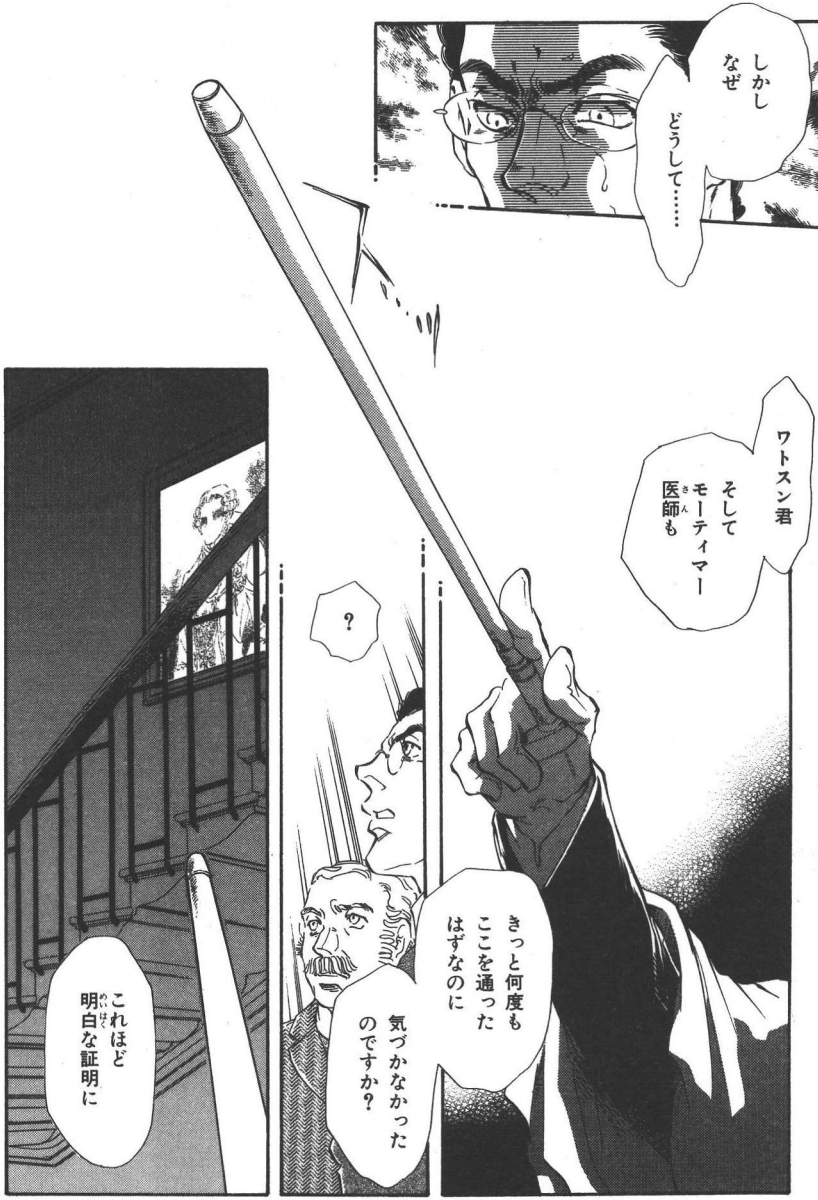

いや
こちらこそ…


もっとワインをいかが？
ありがとう
感謝するよステイプルトン君
僕は君を誤解していたようだ
こちらこそ
これからもよろしくお付き合い下さい
さあ――


出かけた!?
どこへ?
ステイプルトン様のお宅へ――
夕食に招かれてお出かけになりました
!!
…しまった
僕は少々甘く見すぎていたようだ
ホームズ!?


今回の事件では
〝犯人〟は常に
〝魔犬〟の影に隠れて
絶対に出てこようと
しなかった
おそろしく
頭のいい
決して
証拠を残さない
犯行——
まさか
これほど
なりふり構わぬ
手段に打って
出ようとは！


ホームズさん！
本当なんですか!?
ステイプルトン君が
本当に——
……


しかし
なぜ
どうして……
ワトスン君
そして
モーティマー
医師も
？
きっと何度も
ここを通った
はずなのに
気づかなかった
のですか？
これほど
明白な証明に


髪形や衣装にとらわれず
顔のみを注視したまえ
!!
ステイプルトン
!?


彼の素性が調べきれずに苦慮していたがあの絵で確信したよ
彼はバスカヴィル家の一族だ


…じゃあ
動機は…
バスカヴィル家の資産百万ポンド——
犯罪の動機には充分すぎる額だと思わないかね!?
あれ？
ベリルさんは？


妹は先に
休ませて頂いた
少々ワインを
飲みすぎた
ようだ
そうか…
僕も
そろそろ
おっと
大丈夫かい？
もちろん
館まで
僕が送るよ


夜道は危険だからね――
灯りはついてるぞ！
急げ!!


バン
いない!?
ヘンリ!!
サー・ヘンリ!




！
ベリルさんっ!?
これは
ひどい…っ
あ…
お願い…
あの人を…
ジャックを
止めて……
どこへ
行ったのです?


…わかりま…せん
でも
グリンペンの…
大泥沼の奥に
巨大な犬が…
ジャックは
犬を放って
サー・ヘンリを
襲わせるつもり
なのです……
大泥沼？
あんな所へ
どうやって…
ジャックしか
知らない
抜け道が
あるのです…
どうか…
サー・ヘンリを
助けて……
モーティマー君！
もう少し
付き合っていただくよ！
当たり前です！
HA!


間に合ってくれ!!
ガラ
ガラ
バスカヴィル館へ!!
え!?
大泥沼とは逆方向ですよっ
それでいい!
ステイプルトンの目的は財産だ
サー・ヘンリを殺したところで自分が殺人犯になってしまえば金は手に入らぬ
あくまで事故――〝魔犬の呪い〟に見せかけるはず
サー・ヘンリは館への途中で襲われなくてはならないんだ!!

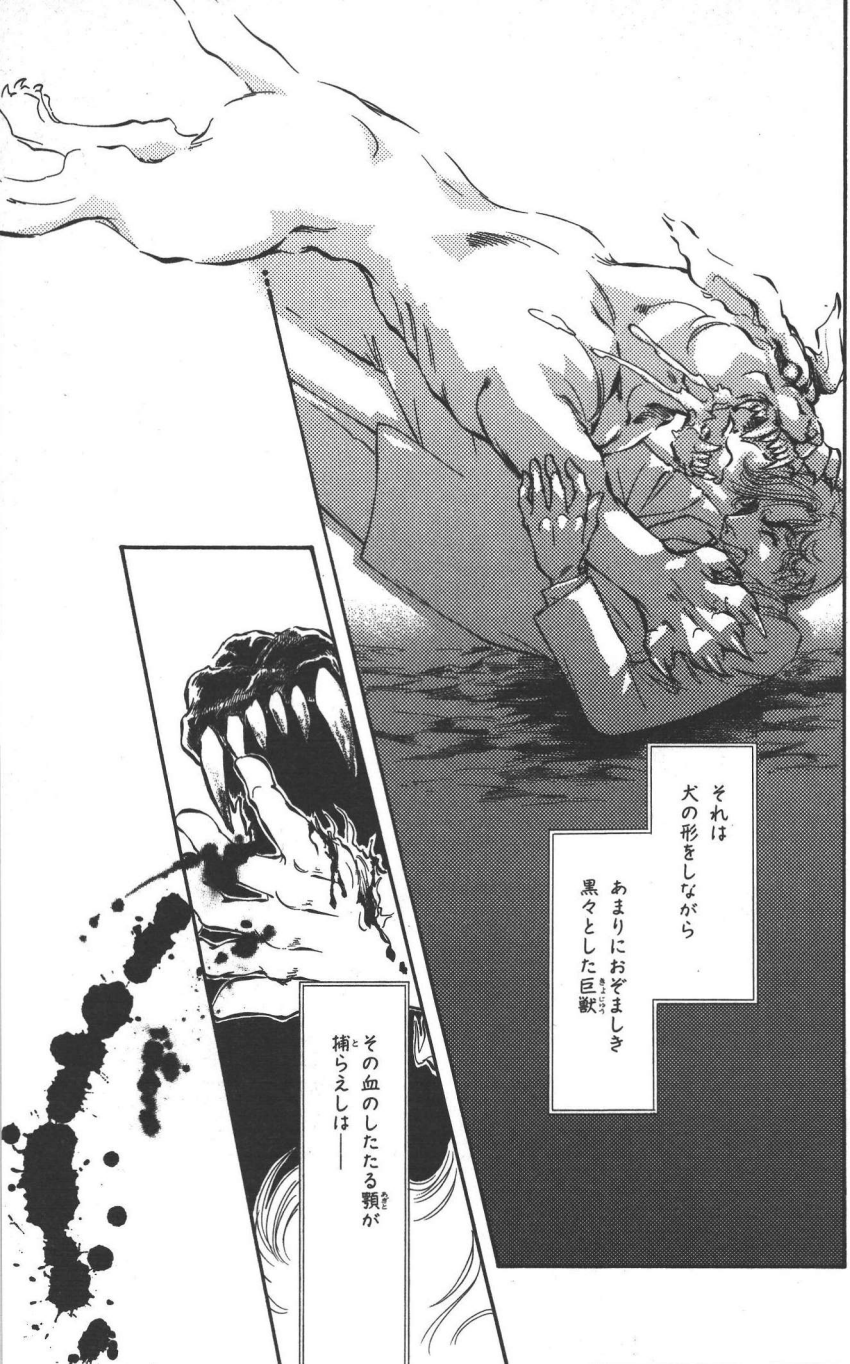

ガラ
ガラ！
どうかしたのかい？




急いで逃げ…
いけないっ
何をする？
君は一体――
私は――



君が死ねば
バスカヴィル家の
最後の一人になる
男だよ——


それは
犬の形をしながら
あまりにおぞましき
黒々とした巨獣(きょじゅう)
その血のしたたる顎(あぎと)が
捕(と)らえしは——


ガ
ゴ
ガラ
ガラ
サー・ヘンリッ!!
あ
当たった!


……っ
あっ
待てっっ


クン
クンッ
放っておきたまえ！
奴の行き先など
想像がつく
それより
サー・ヘンリ
を――


右手の骨が
砕けているが…
命に別状は
なさそうだ
…
良かった…
ナデナデ


カートライト!?
大丈夫かっ
しっかりっ
…おい
あの犬は
どこへ行ったんだ
……?


ハア…
ハア…
…くそぉ
逃げてやる……
奴らは
この沼の中には
入れないんだ
絶対に……
ズズ…
ズズズ…
グルウ
グルル…


我が子らよ
いかなる呪いも
祈りと
悔い改めによりて
除かれ得るものと
信ぜよ

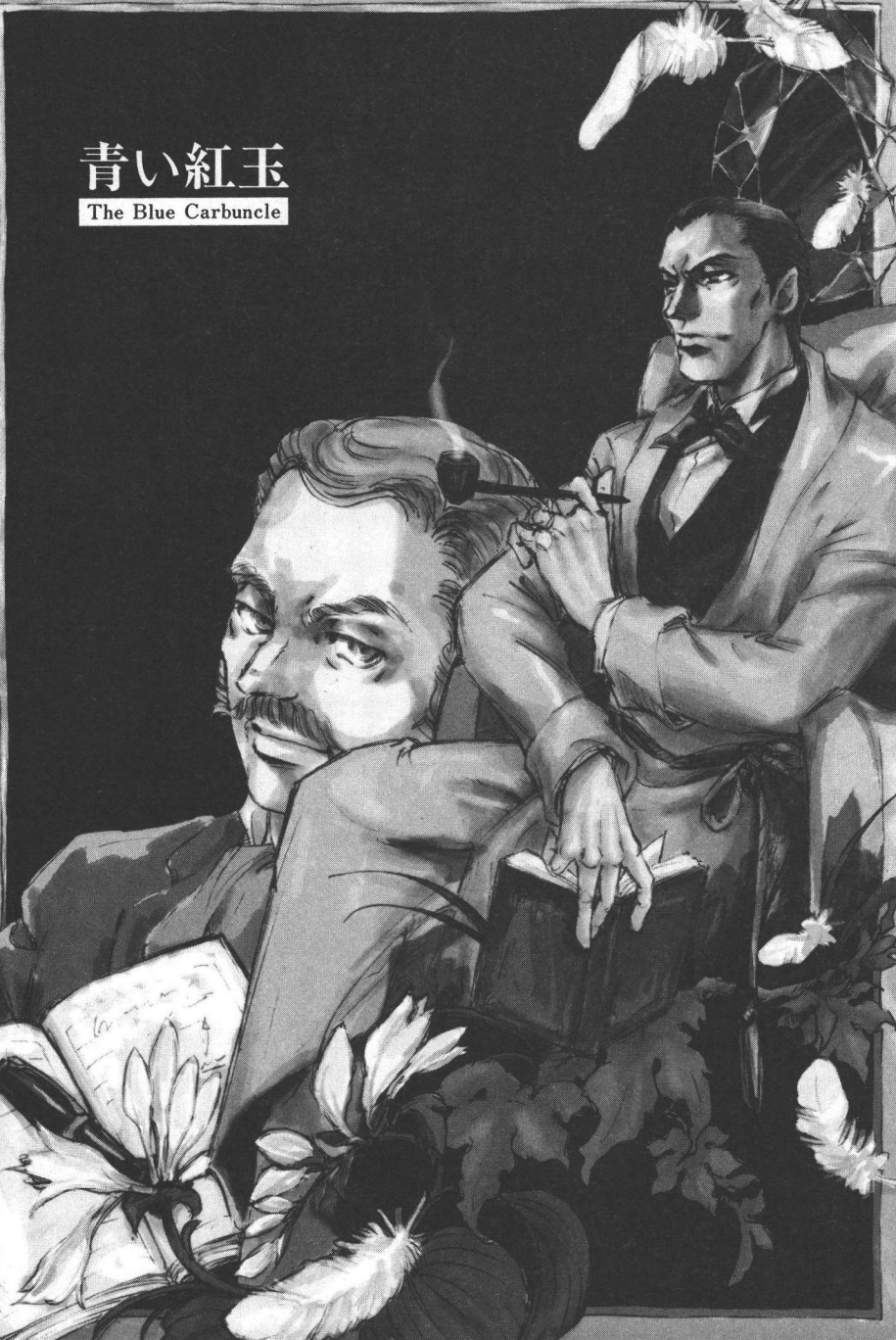

いかなる呪いも――
――以上が
バスカヴィル家の
一族にまつわる
世にもおそましい
物語の顛末である
付記するならば

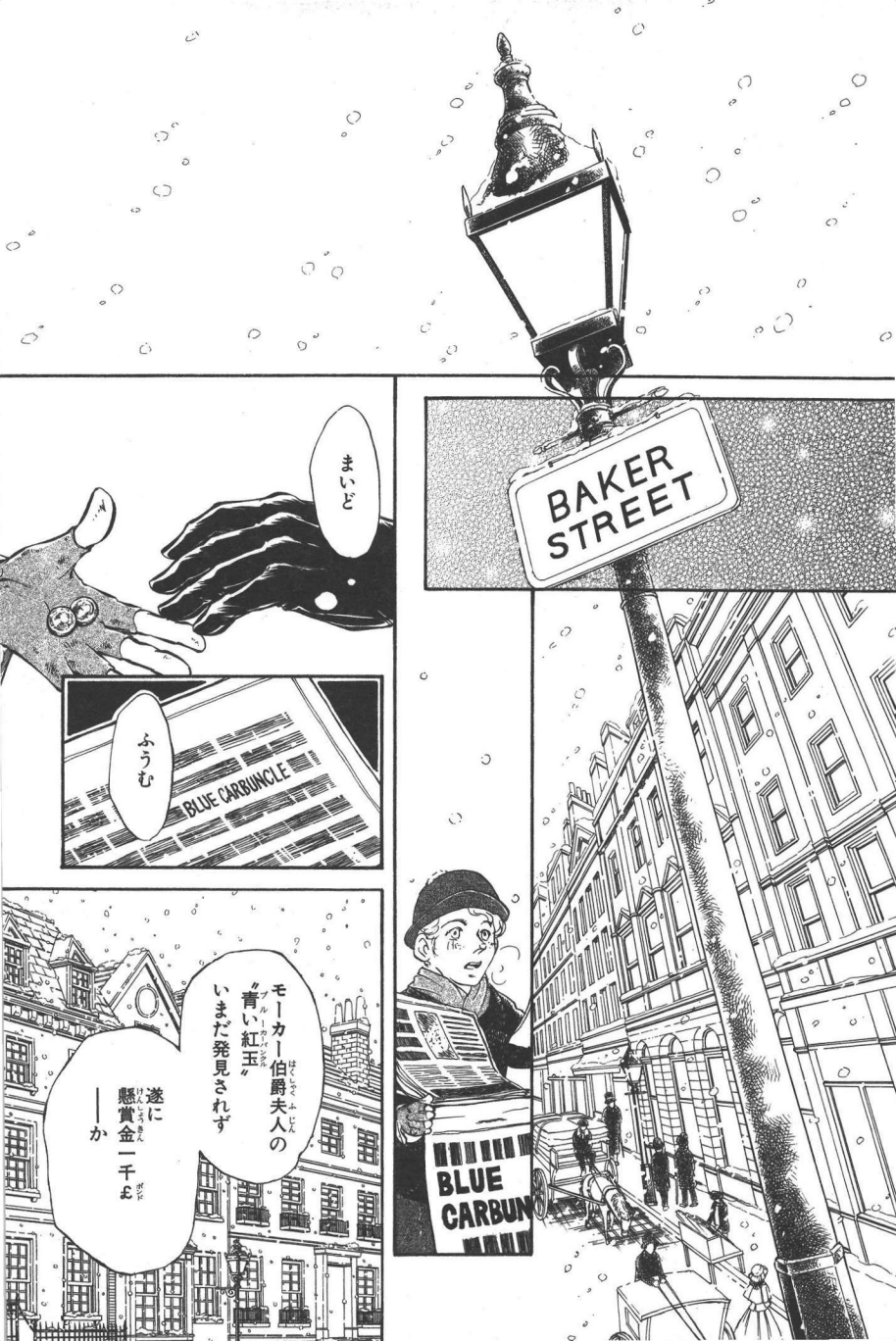

ベリル・ステイプルトンは
いずこへともなく
姿を消していた
警告状を出すなども
彼女の仕業だった事もあり
サー・ヘンリは彼女を許して
強いて罪を問うことはなかった
そのサー・ヘンリは
精神的消耗により
数日人事不省であったが
やがて回復
同じく回復した
スパニエル犬と
その飼い主と共に
世界一周の旅に出た
戻ってよりは
先代以上に
良き領主たらんと
努めているという
221B
そして
我が友人はと
いえば——


新しい依頼人のようだよ
ワトスン君
まったくこのロンドンという街は
荒地以上に謎と刺激に満ちていると思わないかね？
医師として友人として
どうやって彼を休ませようかと思案の日々である

バスカヴィル家の犬 The Hound of The BASKERVILLES

初出：『ネムキ』2005年９月号～2006年１月号掲載


青い紅玉
The Blue Carbuncle

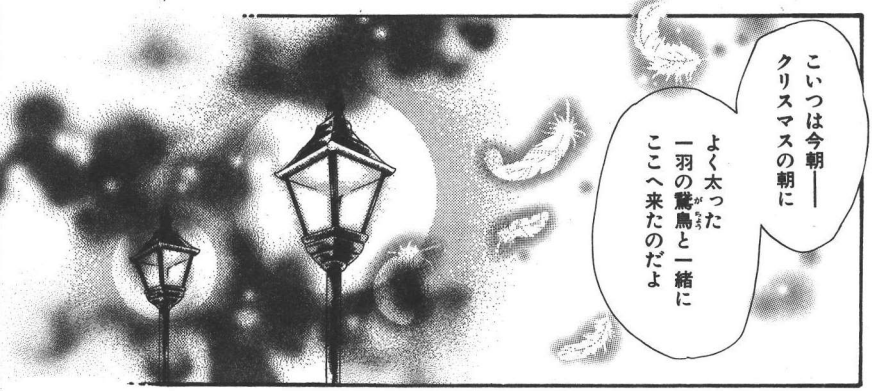

BAKER STREET
まいど
ふうむ
BLUE CARBUNCLE
モーカー伯爵夫人の
〝青い紅玉〟
いまだ発見されず
遂に
懸賞金一千£
——か
BLUE CARBUN


近々
彼に依頼が来るかもしれないな……
その年のクリスマスは大雪だった
通い慣れた道も見誤まりそうなそんな昼下がり
221b
やあ ワトスン君
！


安心したまえ
僕は別に
眠っているわけでは
ないからね
彼は何やら
古めかしい
一個の帽子を前に
思索にふけっていた
また昼食に
手もつけずに
思索かい
よければ
食べたまえ
ハドソンさんが
がっかりするよ
……
食物の消化に
廻す余力は
ない――と？


その帽子は
よほど重要な
手がかりらしいね！
その古ぼけた
帽子から
一体どんな
恐ろしい事件が
導き出されると
言うんだね？
――まさか！


犯罪とは
無関係だよ
これは
ここで
顔馴じみの
使丁
あの
ピーターソンの
戦利品さ！
は？


こいつは今朝――
クリスマスの朝に
よく太った
一羽の鵞鳥と一緒に
ここへ来たのだよ


知っての通り
彼は実に
真面目な男だ
クリスマスの
朝四時頃
ささやかに
仲間たちと
祝杯をあげた
帰り道
ごきげんだね
旦那
えっ!!
ヒャッ
ヒャッ
旦那も
ガチョウも
丸々としてら

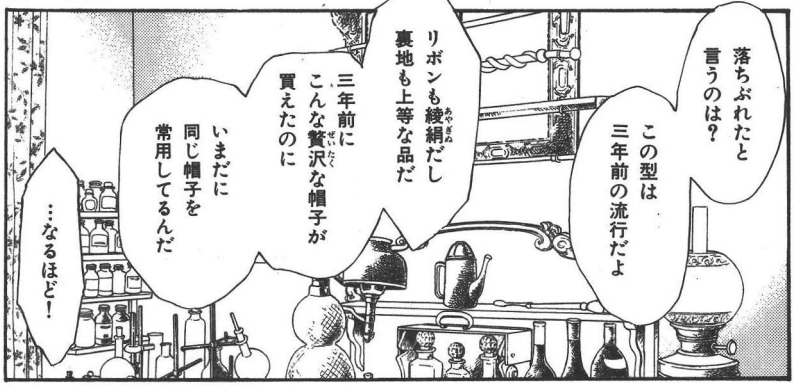

や
やかましい
お前ら
どけ
…おい
何だよ
〝お前ら〟
扱いかよ！
この
豚オヤジ…
どかんか…っ
よさんかっ
お前たちっっ


あんたまで逃げることはないだろうっ!?
ピータースンとしてはその人物を与太者から救ってやろうとしたわけだが
おそらく警官と見間違えたのだろう
ガラスを割ったのをとがめられると思ったのだろうさ
かくてピータースンの手元には戦利品が残り
僕は朝の六時に叩き起こされたというわけさ!


驚鳥は？
この気候とはいえ
早く火を通した方が
良さそうだったのでね
今頃は
ピータースンの家で
本来の使命を
全うしている
頃だろう
ふうん…
どうぞ？
名前が
入ってるね……
〝ヘンリー・ベーカー〟
というらしい
Henry Baker
じーーっ
ふはふは
じーーーーっ
僕の〝やり方〟は
ずい分見ていた
はずだが…


どうぞ
…そうだね
いくつかの
確実な点として
持ち主は
非常に賢い男で
今は落ちぶれてるが
三年ほど前は
裕福だった
その頃は
思慮深かったが
今はそうでもない
何か
悪い習慣――
ピーターソンの
証言から
飲酒癖にでも
染まったようだな
細君が彼に
愛想をつかしたのも
そのせいだろう


おいおい…
だがまだ多少の自尊心は残っていて
運動不足気味
——たぶん
座り仕事に従事
中年で
白髪まじりの髪を
数日前に散髪
したばかりで
ライム香油入りの
クリームを使っている
あと
この男の家には
ガスがない
——なぜ?
いいかげんにしろよ
ホームズ!!
なんで賢いなんてわかる?
いささか推論に属するがね
容積の問題だよ
さらに
ひどい汗っかきで
運動不足らしいから
頭脳労働者ではないかと思うね
……


落ちぶれたと言うのは？
この型は三年前の流行だよ
リボンも綾絹だし裏地も上等な品だ
三年前にこんな贅沢な帽子が買えたのに
いまだに同じ帽子を常用してるんだ
…なるほど！

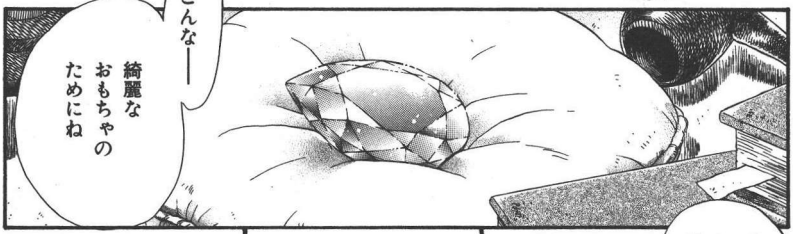

それにこれは
帽子が飛ばされないように注文でつけさせたヒモ通しだが
ヒモが切れてそのままだ
〝思慮深かったが今はそうでもない〟――！
それに
この帽子はほこりまみれだ
こんなものを平気で亭主にかぶらせている細君というものがいるとしたら
亭主に愛想をつかしてるわけだ
なるほど

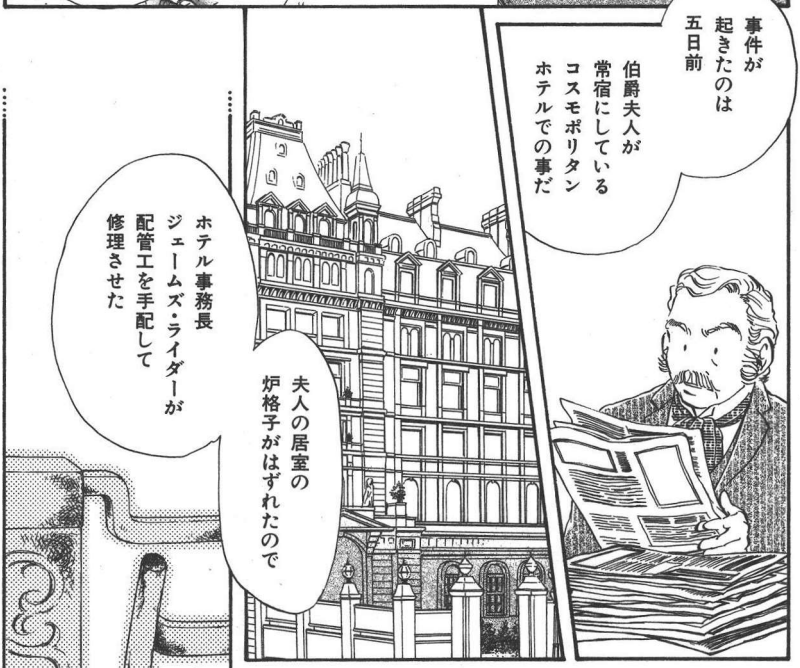

もうひとつ
家にガスがないのはこの獣脂蠟燭の跡からも――
先生っ
シャーロック・ホームズ先生!!
どうしたピーターソン
鷲鳥が生き返って窓から脱走でもしたのかね
それどころじゃありませんやっ
これ…これっ


こんなものが
鷲鳥(ヤツ)の内臓(はら)の中から…
すごい宝石じゃないかピータースン！
本物でさあ！
ガラスが練石膏(パテ)みたいに切れますわい
ただの宝石ではないよ


――巷で話題の――
モーカー伯爵夫人の
青い紅玉(ブルーカーバンクル)だ――
美しい宝石と
いうものは
すべからく
悪魔が好んで
餌(えさ)に使う


僕が知る限りでも
この四十グレンの
炭素の結晶のために
命を落とした者は
十名ではきかないよ


こんな——
綺麗な
おもちゃの
ためにね


事件が
起きたのは
五日前
伯爵夫人が
常宿にしている
コスモポリタン
ホテルでの事だ
夫人の居室の
炉格子がはずれたので
ホテル事務長
ジェームズ・ライダーが
配管工を手配して
修理させた


その後
夫人が外出先より戻ると――
修理中に一時部屋を出たという事務長の証言により配管工ジョン・ホーナーに窃盗の嫌疑がかかった
ホーナーに窃盗の前科があったことと
警官に対して激しい抵抗を見せたため
さらに判事の心証を害したわけだが――


その宝石がトテナム・コート通りの鷲鳥の餌袋に飛び込むまでに何があったかだな
やがて解るさ
夕刊各紙に広告を出したからね
トテナム・コート通りにて
鷲鳥と黒の山高帽子を拾得せり
今夕六時半ベーカー街二一一番地Bまで
受け取りに来られたし。
ヘンリー・ベーカー殿
いまだ
ホーナーの身の廻りからもどこからも宝石は発見されていない――
気づくかな？
貧乏人には相当な損害だからね
気にかけていると思うよ


問題はその先だ
鷲鳥はどこから
やってきたのか――
"H・ベーカー氏"は
自分の鷲鳥の
値打ちを知らずに
逃げ出している
つまり
犯人では
あり得ない
まだ
いるのかい
こんな所で
待ってたって
無駄なのに


亭主は無実だと
言い張って
ホーナーの女房が
うろついて
いるんだよ
2216
ホームズさん
お客様ですよ
あの…
こちらで
私の…


おお！
ヘンリー・
ベーカーさんですか！
このたびは
大変な
ことでしたな
あ
はい
どうも
これは
あなたの帽子に
間違いない？
ええ
ええ
確かです
感謝します
ところで
鵞鳥
なんですが
え!?
食べた!?
実はもう
食べてしまったん
ですよ
そうしないと
無駄になりそう
でしたので
ですが


あそこに
別の一羽が
あります
目方も同じ
くらいの奴が
おお
けっこうです
もちろん
あなたの鳥の
羽や足や内臓は
まだ残ってますよ
もし
御入用(ごいりよう)でしたら――
あれでは
代わりに
なりませんかな?
事件の記念品には
なるかもしれません
がね
いやいや
あのすばらしい鳥
だけで充分です
では本当に
ありがとう
ございました


ひとつ
お尋ねしても
よろしいですか？
実は僕は
大変鳥好きなのですが
あの素晴しい鷲鳥を
どこで手に入れられた
のですか？
私の務める
博物館の近くに
『アルファ』という
パブがありましてね
そこの主人が
鷲鳥倶楽部を
やっておるのですよ
おお！
あれは
ですね
毎週何ペンスかずつ
積み立てておくと
クリスマスに鷲鳥が
もらえるという——
…ワトスン君


君は腹はへっているかね
いやたいして…
君の分の食事まで食べてしまったし
ならば飛び立ってしまわぬうちにこの新たな手がかりを追うというのは？
賛成だ！
あら
もう夕食ですよ今夜は山鳴を準備したのに
ハドソンさん
今日は愛と寛容の日です
今この祝うべき夜に
家族とも引き裂かれ無実の罪で冷たい牢獄につながれた哀れな男を助けるためどうしても出かけねばならないのですよ！


山鳴は
夜食の楽しみ
に！
あれ
お客さんたち
新顔だね
ビールを
この店は
ビールも旨いが
鴨鳥もいいって
薦められてね
ヘンリー・
ベーカーさんから
ああ！
alpha


あの鷦鳥は
店の品と言っても
コヴェント・ガーデンから
仕入れたもの
ですがね
どこから?
ブレックンリッジ
っていう
鳥を見る目の
確かな男でさ
奴は
小僧の頃から
鳥を扱って
ますからね
うちの自慢の
チーズはどうです
ビールと
よく合います…


次は
コヴェント・ガーデン
かい？
疲れたかね
いや
一羽の鷲鳥から
どこまで急展開
していくのだろう
わくわくしてるよ！


やあ
鷲鳥はもう
売り切れかい
明日でよければ
500羽でも揃えて
みせますぜ
向こうの店に
あたってみれば
アルファの大将から
この店がいいって
聞いたもんでね
ああー
ニダースばっか
入れやしたね
あれは
良い鷲鳥
だった
どこから
仕入れたの
かね
いいかげんに
してもらい
やしょうかね!!


「鷲鳥はどこだ?」
「どこへ売った?」
「いくらで売った?」
しつこいったら
ありゃしねえ
絶対に
教えないね!
帰った
帰った!!
え?
何の話
……
別にかまわんよ
……
賭?
君が教えて
くれないと
いうのなら
賭がお流れに
なるだけの話だ
僕たちは
鳥が大好物
なんだが
アルファの鷲鳥が
田舎そだちか
都会育ちかで
賭けをしたんだよ
あれは絶対
田舎でのびのびと
育った鷲鳥だ


まちがいない！
な！
え
あ
いや あれは
都会の味だね
脂(あぶら)がよく
のってた！
いくら
賭けたんだい？
五(ボル)さ
ニヤリ
ほらよ
これが
アルファにおろした
鷲鳥の仕入れ先だ
ミセス・オーワショット
ブリクストフ通(ストリート)り
鷲鳥二十四羽
アルファへ売却――
どうだい？
…くっ


ちゃんと
賭け金は
払いなよ！
そうだな…
次は
オーワショット夫人の
ところかい!?
ここまで来た
ついでだ
行ってしまおうよ
…いや
あんな男が
賭けの話で
つれなかったら
驚くね！
耳に赤鉛筆
ポケットに
競馬新聞


その必要はなさそうだ
ゴールが向こうからやって来たようだよ
ワトソン君?
…だから
あの中に私の鷲鳥が…
だったらオーワショットさんに聞きな


向こうで
聞いたら
ここへ行けと…
お名前は
あ…
我々がお力に
なれると
思いますよ？
あの
ジョン・ロビンソン
です
鷲鳥を探して
いらっしゃる？
本名を
どうぞ？


ジェームズ・ライダー氏
！
コスモポリタン・ホテルの事務長さんだ
ひ…っっ
ズドッ
鷲鳥がどうなったか知りたくはないのですかな？


青く輝く
すばらしい卵を――
あれは実際
すばらしい鳥
でしたよ
死んでから
卵を生みましてね
計画は失敗だよ
ライダー


あ
ああ…
…一体
何がどうなっているんだいホームズ??
ケチな悪党さ
この男はお宝を手に入れるために
前科のあるホーナーをわざと部屋へ入れたんだ
おそらく小間使いとでも組んで
部屋の炉格子を壊してホーナーを呼ぶ
わざと一人にしておいて宝石がなくなった後大騒ぎをしてみせた
鷲鳥は?


わ
私は…
宝石を持っている間中生きた心地がしなくて……
いつ身体検査をされるかと思うと心配で
なんとか考えをまとめようとホテルの近くにある姉の家へ行きました
その時――
裏庭で餌を食っている鵞鳥を見ていてひらめいたのです


こうして
鷲鳥に飲ませて
持ち歩けば
疑われることは
ないと――！
同じような
鷲鳥が二羽
いたなんて…っっ
目印だと思った
尾羽根のぶちが
……
クリスマスの
お楽しみなんて
あのまま
すぐにもらって
帰るべきだった
…で
鷲鳥を
間違えた…？


お願いですっ
見逃して下さいっ
私は今まで
真面目に生きてきた
初めて
初めてなんです
どうかっ
――失せろ――
お願い……
父が
母が悲しむ姿を
見たくない…
私は国外へ
逃げます…
ホーナーは
どうなる!?


失せろっ!!
…おい
ホームズ
…この足で
夫人に
この青い紅玉(ブルーカーバンクル)を
返却し
僕の弁説を
もってすれば
ホーナーは
釈放(しゃくほう)されると
思わんかね
そりゃまあ…
僕は
警察の尻(しり)ぬぐいを
するために
いるわけではない


それに
今日は愛と寛容の日だ
戻ろうワトスン君
部屋でもう一つの重大なる事件——山鳴が待っているよ
221B
青い紅玉◆END

青い紅玉 The Blue Carbuncle

初出:『ネムキ』2005年7月号掲載

え〜っと。私たふんいわゆる“シャーロキアン”では全くないので・・・
時代考証的に少々おかしくても、あのホームズのシルエットがくわえているくるりと曲がったパイプなんかも「かっこいいからおっけー！」だし、つい夜になっても「御大にはやっぱり黒いタイが素敵♪」なんていい加減さだし。
“かっこいい”とか“素敵”が全てに優先してしまうというミーハーっぷりなので、おそらく心からホームズを愛好してる方たちには見るに耐えないものを描いているんだろうなとは思うんですが。
しかも一応ネムキって少女漫画誌なのにおやじと髭ともみあげだらけの漫画を描く。御大も少々老け目が私的には萌えなので、油断するとガシガシしわ描きまくり。
担当さんがミスノン持って追っかけてくる始末。

・・・色々な意味で申し訳ありません・・・・・

とりあえず簡単に作品の説明を。
「バスカヴィル家の犬」
おそらく長編の中では一番有名だと思うんですが。子供の頃見た映画で、なんかえらいわんこが可愛くて、人を襲っているシーンでふりふりしっぽ振ってるモノを見てしまったせいで、変な先入観を持ってしまった作品。ホームズ作品って意外と犬が良く出てくるという印象があるのですが、その中でも双璧かと。
ホラー色が強いせいもあって結構好きな作品ですが、前述の通り難しかったです。
「青い紅玉」
初めて子供向けのこのタイトルを読んだ時は「ええっ!?青いリンゴ？？すげえっ！」と訳の分からない強い印象を持ちました・・・子供の頃からモノ知らず。綺麗な宝石とかアヒル（違）の白いふかふか尾羽とか色んな素材が印象的で、とても色彩的に美しいイメージのある章編。雑誌掲載時に担当さんが山鳴を山鴨（やまがも・とご丁寧にルビ付きで）と文字を間違え、腰を抜かしたのも今は思い出。どんな鴨やねん。

そんな訳でもう少しこのシリーズは続きます。
心の広いホームズファンの方におつきあい頂ければうれしい限り。私だけは間違いなく幸せですみません。

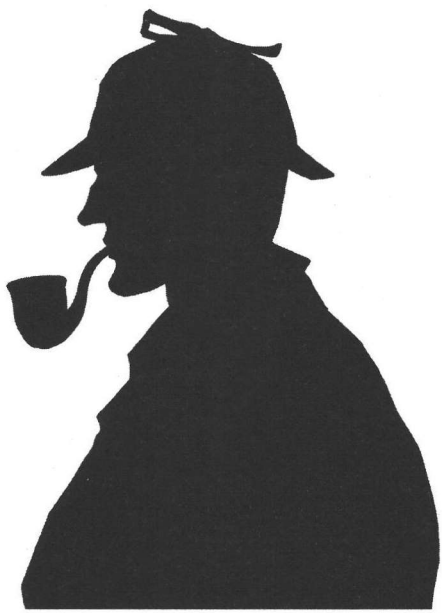
2006年皐月五月雨の夜　JET拝

想いの長けを数字で現せるというのならば数千とか数万という数で。単位はキロぐらいな感じ？

そんなわけで思いっきりお久しぶりのホームズ御大への挑戦です。
前に「ハロウィン』（うわ～）に描かせて頂いたのが93年の末ぐらいなので、約10年とちょっとという事になりますか。
我ながらしつこい。
そして再びこんな素敵機会を与えて下さったソノラマ様への感謝を込めつつ。
深く好きになるとかなりしつこい様です。そして気が長い。ひとの事は気にせず、のんびりまったりと心の中で反芻し続けるタイプ。
『そのうちまた描けるといいなあ』とのんびり待っていたら、また機会が巡って来てくれた、そんな状態。
だからといって“好きこそものの上手なれ”となれないのがつらい所なのですが。
思い入れが強すぎると冷静に判断が効かなくなるし。

今回編集部サイドからは「有名な作品をやってくれ」という条件を提示されまして、そんなわけでこんなラインナップとなっております。
普通に考えて有名どころだよね？と思った作品。ちょっと有名過ぎて身動き取れなかったというオチもついておりますが。
せっかく漫画故の嘘三昧なら、もっと犬を魔物にすれば良かったかも。充分あり得ないぐらいでかくはしたつもりなのですが。夜中に荒野で出会ったら、コッカスパニエルにしっぽふりふりされても一瞬ぎょっとするとは思うんですが・・・灯りもない所から現れるわけだし。
この暗さがうまく出せなくて四苦八苦したのも事実。暗いからって真っ黒にする訳にもいかないんだけど、最近の時代劇みたいに変に明るいのもおかしいだろうと。
子供の頃から電灯の下で育ってきた人間には（田舎の子だから闇の怖さは知ってるんですが）色々と難しい経験でした。以上泣き言。

ありがたい事にこの一冊分から更にまだ雑誌の方では続けさせていただいているので、段々やりたい放題というか世間的にはきっとマイナー、でもミーハー的にはめっちゃおいしい「コレ御大が可愛いのよう！」な作品もやっていけたらと野望中。



眠れぬ夜の奇妙な話コミックス
シャーロック・ホームズの冒険①
バスカヴィル家の犬
2007年10月1日　新版第1刷発行

著者……コナン・ドイル／JET
©JET
発行者……間島英之
発行所……朝日新聞社
〒104-8011　東京都中央区築地5-3-2
TEL 03-3545-0131(代表)
編集・図書編集センター
販売・出版販売部
印刷……株式会社光邦
Printed in Japan
乱丁、落丁がありましたらおとりかえいたします。
定価はカバーに表示してあります。
この本の初版は2006年6月に朝日ソノラマ社から発行されました。

ISBN978-4-02-213001-3

眠れぬ夜の奇妙な話コミックス最新刊!!

原作◆江戸川乱歩

作画◆JET

明智小五郎VS女盗賊・黒蜥蜴!!

奇才・江戸川乱歩が生んだ名探偵・明智小五郎と妖艶な女盗賊・黒蜥蜴の、可憐な美少女と宝石をめぐる華麗なる対決が始まる!!

名探偵登場!シリーズ

黒蜥蜴

—くろとかげ—

★同時収録「人でなしの恋」(原作・江戸川乱歩)



只今絶賛発売中!

【A5判★定価・840円(税込み)】

19世紀 霧深いロンドンで起こる不可解な事件……。
名探偵ホームズの閃きが冴える!!



原作◆コナン・ドイル
作画◆JET

ネムキコミックス

名探偵登場！シリーズ

シャーロック・ホームズの冒険①
バスカヴィル家の犬【同時収録】「青い紅玉」

シャーロック・ホームズの冒険②
まだらの紐【同時収録】「黄色い顔」「入院患者」「瀕死の探偵」

●B6判／定価各600円（税込）／192頁

あまりにも有名なコンビ名探偵シャーロックホームズとワトスン博士が華麗なる推理と機動力で難事件を解明してゆく！『ネムキ』の大人気コミック!!

朝日新聞社 お求めは書店、ASA（朝日新聞販売所）でどうぞ。http://opendoors.asahi.com/

The Hound of The BASKERVILLES

The Blue Carbuncle

9784022130013

ISBN978-4-02-213001-3

C0979 ¥571E

定価：本体571円 ＋税

1920979005716

朝日新聞社

【同時収録「青い紅玉」】



THE ADVENTURES OF SHERLOCK HOLMES